

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

PVJ-0607

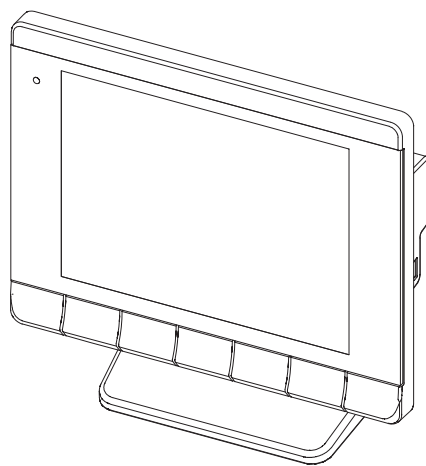
お客様用

TPV-CM003A-CM

パワーコンディショナ用
カラー表示ユニット

全量買取方式専用

取扱説明書



このたびは、パワーコンディショナ用カラー表示ユニット（以下カラー表示ユニット）をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、カラー表示ユニットの機能および使用方法について解説します。

ご使用になるときはこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、いつでも利用できるよう大切に保管してください。

● 施工業者からパワーコンディショナの機器 No. とユニット No. の情報をお聞きになり、メモなどに控えて大切に保管してください。

施工の方へ

施工・保守については「施工・保守マニュアル」(PVJ-0608) をご参照ください。

1. はじめに

2. 設置

3. 使い方

4. その他

品番 5345785-6 A



日本国内専用品

Use only in Japan

目次

1. はじめに

1.1 安全上のご注意	4
1.2 必ずお読みください.....	8
1.3 カラー表示ユニットと付属品	11
1.4 各部の名前と機能.....	12

2. 設置

2.1 カラー表示ユニットの設置場所を変更する	14
2.1.1 設置場所の無線通信の状態を確認する	14
2.1.2 カラー表示ユニットを設置する	15

3. 使い方

3.1 画面の見方と操作方法.....	18
3.1.1 電力情報の見方	20
3.1.2 操作キーの使い方	20
3.2 メイン画面の操作.....	21
3.3 過去の発電実績を確認する	22
3.4 情報を確認する	26
3.4.1 過去の発電電力量と比較する（発電量過去比較）.....	26
3.4.2 パワーコンディショナの電圧上昇抑制の履歴を確認する.....	27
3.4.3 太陽光発電システムの情報を確認する（システム情報）.....	29
3.4.4 パワーコンディショナの内部計測値を確認する （パワーコンディショナモニタ）.....	30
3.5 各種設定をする	31
3.5.1 液晶画面の明るさや点灯のモードを設定する （液晶画面設定）.....	32
3.5.2 キー操作音の設定をする（操作音設定）.....	33
3.5.3 日付と時刻を変更する（日付 / 時刻設定）.....	34
3.5.4 各種グラフの電力グラフスケールを設定する （電力グラフスケール設定）.....	37
3.5.5 設定を初期化する（設定初期化）.....	38
3.6 実績データなどをパソコンに保存する.....	40

目次 (つづき)

4. その他

4.1 故障かな!?!?と思ったら	41
4.1.1 異常が発生したら.....	41
4.1.2 こんなときは.....	45
4.1.3 無線通信ができなくなった場合は (高機能設定)	47
4.2 お手入れ.....	54
4.3 仕様.....	55

■ 本書内の表現について

- 本書では下記のように記載しています
 - 「ソーラーパワーコンディショナ」 → 「パワーコンディショナ」
 - 「パワーコンディショナ用カラー表示ユニット (TPV-CM003A-CM)」 → 「カラー表示ユニット」
 - 「パワーコンディショナ用計測ユニット (TPV-CM003A-SU)」 → 「計測ユニット」
 - 参照いただくページ → 「⇒ 00」
- 本書内の製品姿図・イラスト・画面などはイメージです。実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

1.1 安全上のご注意

●安全に使用していただくための表示と意味について

この取扱説明書では、カラー表示ユニット：TPV-CM003A-CM / 計測ユニット：TPV-CM003A-SU を安全に使用していただくために、注意事項を次のような表示と記号で示しています。なお本製品とはカラー表示ユニット、計測ユニットのことを示しています。

ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ず守ってください。

表示と記号は次の通りです。



警告

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至る恐れがあります。



注意

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

はじめに

●図記号の説明

	<p>●感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告</p>		<p>●一般 特定しない一般的な禁止の通告</p>
	<p>●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告</p>		<p>●一般 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示</p>



警告

発火物を近づけたり、可燃性ガスを含むスプレーを吹き付けしないでください。
万一の場合、発火・爆発の恐れがあります。



カラー表示ユニットや計測ユニットをぬれた手で触れないでください。
万一の場合、感電による傷害や機器故障の恐れがあります。



カラー表示ユニットや計測ユニットを分解・改造しないでください。
万一の場合、感電による傷害や火災が起こる恐れがあります。



カバーを開けたり、内部を手で触れないでください。
万一の場合、感電による傷害が起こる恐れがあります。取付工事、修理、増設、移動、再設置などはお買い上げの販売店、または専門業者に依頼してください。



1.1 安全上のご注意（つづき）



注意

振動、衝撃の影響が大きいところに設置しないでください。
稀に、落下により怪我をする恐れがあります。



薄い木材や木材ではない材質の壁にカラー表示ユニットを設置する場合は、市販のボードアンカーにより、壁掛けプレートを壁面にしっかりと固定してください。
稀に、落下により怪我をする恐れがあります。



次のような場所には設置しないでください。
稀に、焼損の恐れがあります。

- 屋外や軒下等の雨水が当たるところ
- 洗面所、脱衣所、作業場、調理場などで湯気の当たる場所、もしくは湿度が 25 ~ 85%RH 以外のところ



- 清掃は、乾燥した柔らかい布で乾拭きしてください。
 - ケースの清掃には、有機溶剤（シンナー、ベンジン等）、強アルカリ性物質、および強酸性物質を使用しないでください。
- 稀に、ケースの変色や機器が故障する恐れがあります。



安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので、必ずお守りください。

- カラー表示ユニットの電源コネクタには、専用 AC アダプタ以外を接続しないでください。
- AC アダプタはコンセントへ確実に差し込んでください。
また、定期的に AC アダプタの埃を取り除いてください。
- 廃棄については、専門業者に依頼してください。
- カラー表示ユニットに発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 計測ユニットに発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、計測ユニットを配線しているブレーカ（計測ユニット用ブレーカ）を「OFF」にしてください。
- 押入や階段下など、通風を妨げるような場所には設置しないでください。
- カラー表示ユニットを壁に設置する際には、操作キーが下になるように設置してください。
また、壁に設置しない場合は、スタンドにセットして使用してください。
- カラー表示ユニットと計測ユニットに水などがかからないように注意してください。
- 怪我をするおそれがあります。製品を投げないでください。

1.1 安全上のご注意（つづき）

使用上の注意

- 本製品は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の全量買取方式専用です。余剰電力買取方式には対応していません。
- 本製品は計量法に定める指定機関が行う検定に合格した特定計量器ではありませんので、電力量の証明には使用できません。電力量の目安としてご使用いただけます。なお、発電量の表示精度につきましては、パワーコンディショナの性能に依存します。
- 本製品は静電気によって故障、破損することがあります。本製品に触れる前に身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。
- カラー表示ユニットの通信コネクタには電話線や家庭内の LAN ケーブルを接続しないでください。本製品および接続先の機器が故障する恐れがあります。
- カラー表示ユニットの AC アダプタは常時コンセントへ差し込んで使用してください。AC アダプタを 1 か月以上外すと、その期間の詳細なデータが取得できなくなりグラフ等が欠落します。
- USB ケーブルを接続したままの状態を 1 か月以上放置しないでください。使用後は USB ケーブルを取り外してください。

USB 接続中には、カラー表示ユニットは計測ユニットからのデータ取得を行いません。

計測ユニット内で 1 か月以上経過したデータは消失するため、USB 接続状態のまま放置すると、計測ユニットからデータ取得できずにグラフ等が欠落します。

- 計測ユニットの電源（計測ユニット用ブレーカ）は常時「ON」のまま使用してください。7 日以上「OFF」にすると蓄積された実績データが消えます。
- 00 分をまたいで日付 / 時刻に戻すと、実績データが失われます。

日付 / 時刻は正しく設定してください。

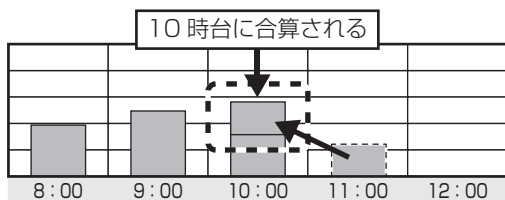
例) [実績データが失われる場合]

間違えて 11 時 45 分から 10 時 45 分に変更し、再度 11 時 45 分に戻した場合

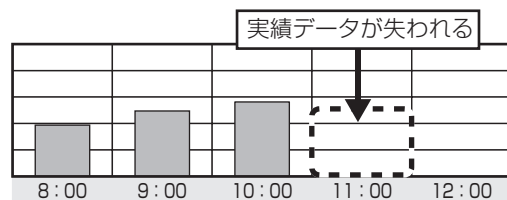
11 時台の実績データが 10 時台の実績データに合算され 11 時台の実績データが失われます。

失われたデータは復元することができません。

11 時 45 分から 10 時 45 分に変更



10 時 45 分から 11 時 45 分に変更

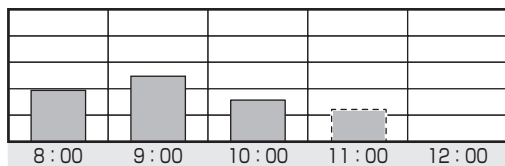


例) [実績データが失われない場合]

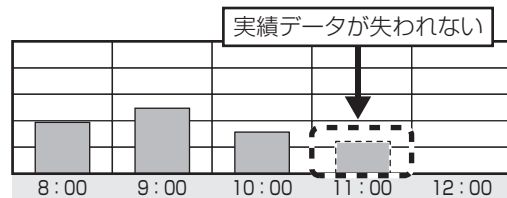
間違えて 11 時 45 分から 11 時 05 分に変更し、再度 11 時 45 分に戻した場合

11 時台の実績データは 12:00 に確定するため 00 分をまたがない変更であれば実績データは失われません。

11 時 45 分から 11 時 05 分に変更



11 時 05 分から 11 時 45 分に変更



11 時台の実績データは 12:00 に確定するため、カラー表示ユニットには表示されません。

1.1 安全上のご注意（つづき）

- 本製品を次のような場所には設置しないでください。
 - 温度変化が激しいところ
 - 潮風にさらされるところ
 - 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有毒ガスのあるところ
 - 直射日光の当たるところ
 - 使用温度範囲（ $-10 \sim +40 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ）以外のところ
 - 標高 2000m 以上の場所
 - 塵埃（粉塵、砂塵、綿ホコリ、金属粉、オガ屑、ワラ屑等）の多いところ
 - 金属・金具類に覆われた場所、金属の壁への設置、金属の机の上、金属製品の傍、電話機・FAX・パソコン・パソコン周辺機器・テレビ・電子レンジ・IH 製品の近く
 - 屋外および屋外用ボックスの中
- 保管する場合は、温度： $-10 \sim +50 \text{ }^{\circ}\text{C}$ 、湿度：25 ~ 85%RH で保管してください。
- 本製品は無線による通信を行います。アマチュア無線（特に 144MHz、430MHz）など、強力な電波が発生する装置からできるだけ離して設置してください。
- 通信性能は周辺環境で変化しますので、カラー表示ユニットを壁に設置する場合は、事前に正常に通信することを確認してください。
- カラー表示ユニットは、鉄板や鉄筋の近くを避けて、できるだけ見通しのよい場所に設置してください。
- 本製品から電波干渉が発生した場合は、計測ユニットの電源（計測ユニット用ブレーカ）を「OFF」にし、カラー表示ユニットの AC アダプタをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡してください。
- データ取得状況アイコンが表示されている間は、カラー表示ユニットの「設定」操作を行わないでください。「設定」操作を行った場合、設定を失敗することがあります。失敗した場合は再度「設定」操作を行ってください。「実績」「情報」の操作は問題ありません。
- 日をまたぐ日付 / 時刻設定や停電によって、電圧上昇抑制履歴に影響する場合があります。

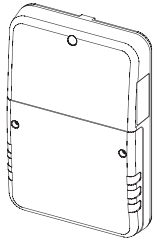
機器仕様上の留意事項

- 以下の誤差要因により、メイン画面や実績画面などに表示される発電電力量が、電力会社の明細書に記載されている電力量と異なる場合があります。
 - (1) 計測上の誤差：計量法上の特定計量器ではなく、電力会社の売電電力量算定には別の機器にて計測していることから生じる誤差。
 - (2) 計算上の誤差：カラー表示ユニット内での計算・表示プロセスにおいて四捨五入することから生じる誤差。

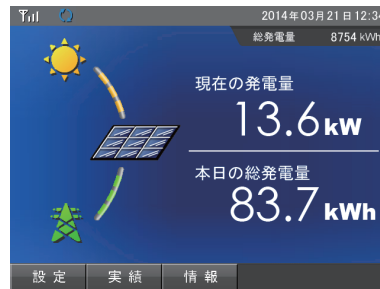
1.2 必ずお読みください

■ 本製品について

計測ユニットと無線通信することにより、下記のような情報をカラー表示ユニットで確認できます。

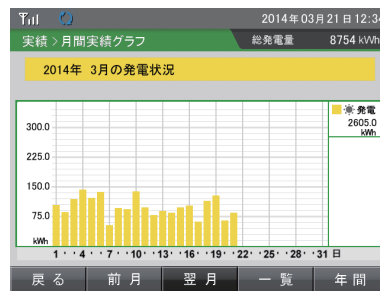


発電状況やパワーコンディショナの状態の確認



現在の発電量の数値や本日の総発電量をかんたんに確認できます。また、パワーコンディショナの運転状況（運転モード、抑制状態や異常の発生など）も確認できます。

過去の発電状況



1日、1か月、1年単位で過去の発電の状況を確認できます。また今年と過去の発電量の実績を比較したり、実績のデータをパソコンに保存することもできます。

本製品は、**再生可能エネルギーの固定価格買取制度の全量買取方式**に対応しています。余剰電力買取方式には対応していません。

- 全量買取方式とは、消費電力とは関係なく、発電した電力をすべて電力会社がい取り取る方式です。太陽光発電システムの発電電力が10kW以上の場合に、全量買取方式を選択できます。
- 全量買取方式は電力会社との買電契約、電灯契約、従量電灯契約などが必要です。（電力会社により名称や契約内容は異なります。）
- パワーコンディショナと計測ユニットが消費する電力は、発電した電力から差し引かれます。
- 自立運転中は売電を行っていません。停電用コンセントで消費している消費電力を発電量として計上します。

1.2 必ずお読みください (つづき)

■ 用語の説明

● 電力と電力量

「電力」とは、時間によって値が変化する瞬間的な電気エネルギー量を表す値です。

単位は、[kW] (キロワット) で表示します。

「電力量」とは、ある期間における電力の合計値を表す値です。

単位は、[kWh] (キロワットアワー) で表示されます。

たとえば、4[kW] の電力を 3 時間使い続けたときの消費電力量は、次の計算式になります。

$$4[\text{kW}] \times 3[\text{h}] = 12[\text{kWh}]$$

● 発電と売電 (全量買取方式の場合)

昼間、発電した電力を電力会社へ売ることができます。

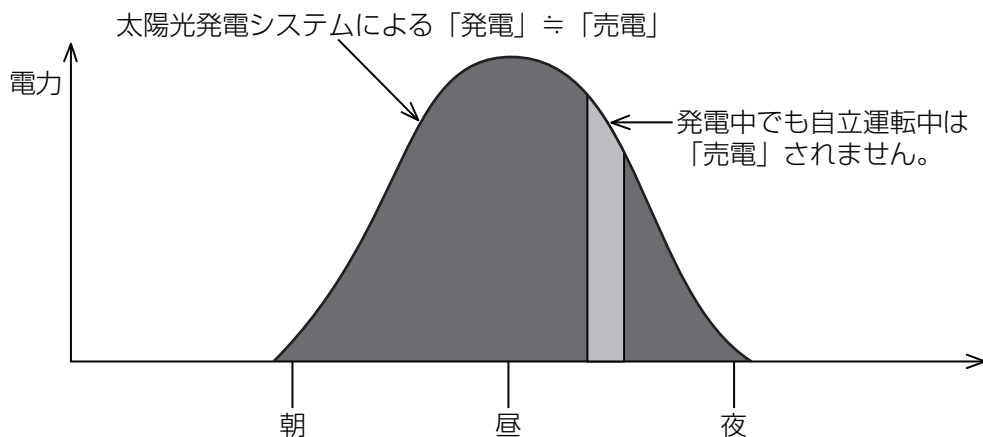
これを「売電」といいます。

下記のグラフは、1 日の発電状況をグラフ化した例です。

日中は、太陽光発電システムの発電した電力を電力会社に売電します。

自立運転中は売電されません。

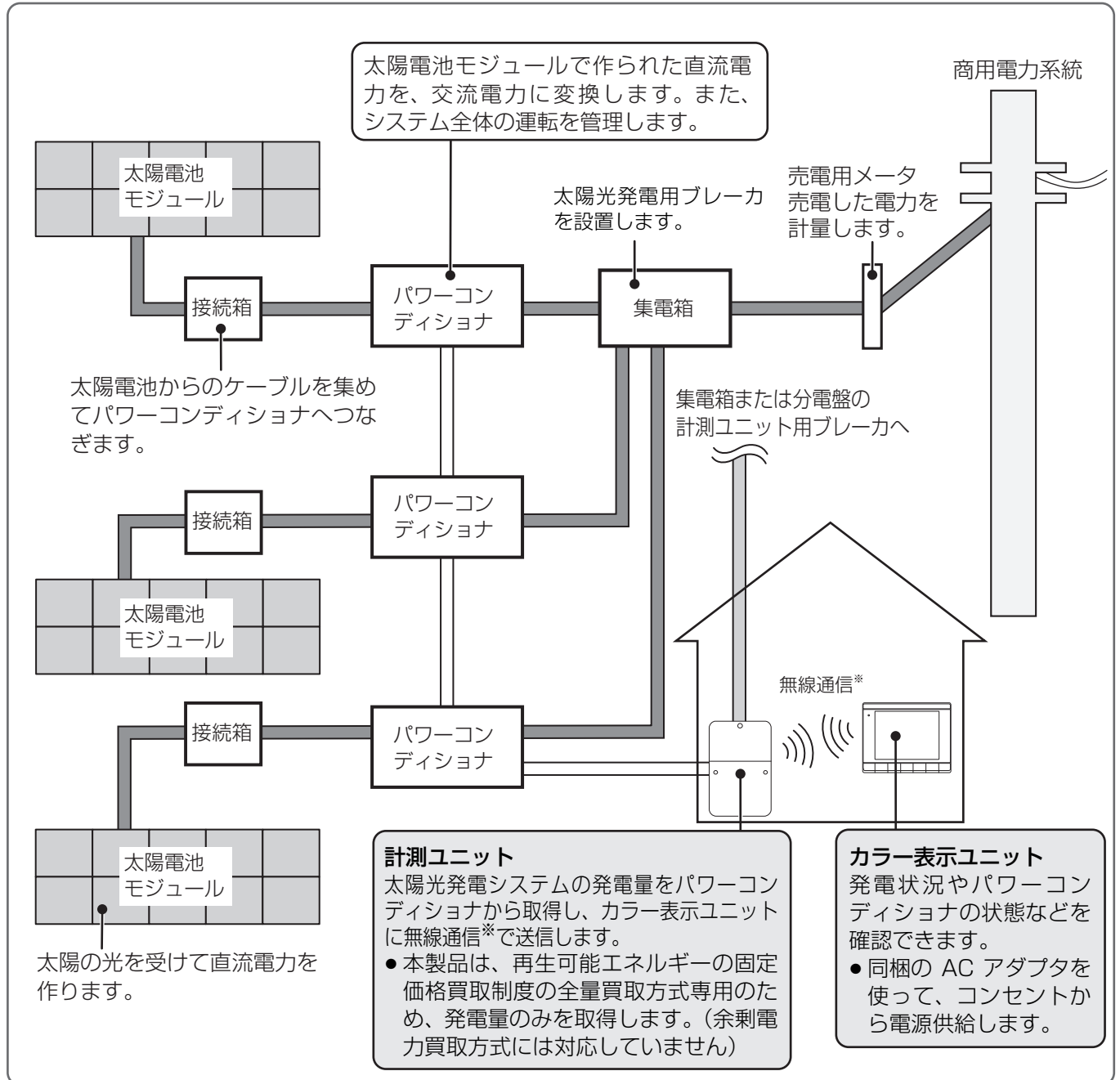
(発電状況のグラフは、天候や日射量などの条件によって形状が異なります。)



1.2 必ずお読みください (つづき)

■ システム全体図

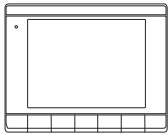

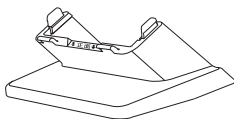
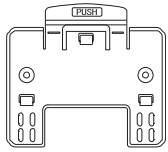

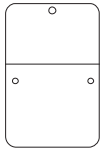
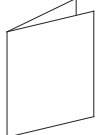
(この図は一例です)



* 無線通信できない場合は、有線通信することもできます。

1.3 カラー表示ユニットと付属品

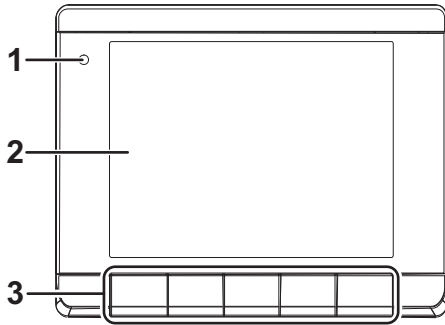
お使いになる前に下記がそろっていることを確認してください。

<input type="checkbox"/> カラー表示ユニット [1 台] 	<input type="checkbox"/> AC アダプタ [1 個] 	<input type="checkbox"/> スタンド [1 個] 
<input type="checkbox"/> 壁掛けプレート [1 個] 	<input type="checkbox"/> 壁取り付け用木ネジ (+) (M4.1 × 25) [2 本]  <ul style="list-style-type: none"> ● 壁掛けプレートの固定用です。 	<input type="checkbox"/> 計測ユニット [1 台]  <ul style="list-style-type: none"> ● 施工時に壁面へ設置されています。
<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (本書) [1 部] 		

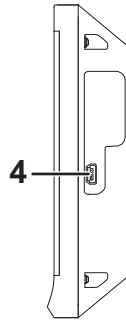
1.4 各部の名前と機能

カラー表示ユニット

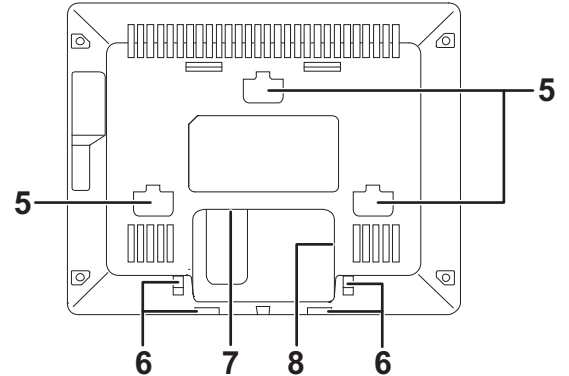
(正面図)



(側面図)



(背面図)



1 発電ランプ (⇒ 45)

発電状態と異常状態を表示します。

- 緑色点灯：発電状態
- 橙色点灯：発電停止状態
- 橙色点滅：異常状態*
- 消灯：無通電

※「故障かな!?!」(⇒ 41)を読んで、エラー内容を確認してください。

2 液晶画面

液晶画面が消灯している場合は、いずれかの操作キーを押すと、画面が表示されます。

液晶画面の設定で明るさや点灯のモードを設定できます。(⇒ 32)

3 操作キー (⇒ 20)

操作キーを押すと、画面下部に表示される操作キーアイコンの操作を実行できます。

操作方法は各機能の説明を参照してください。

4 USB コネクタ (ミニ B) (⇒ 40)

市販の USB ケーブル (ミニ B オス) でパソコンと接続し、実績データの保存を行います。

5 壁掛けプレート取り付け穴 (⇒ 17)

壁面設置時に壁掛けプレートを取り付けます。

6 スタンド取り付け穴 (⇒ 15)

卓上設置時にスタンドを取り付けます。

7 通信コネクタ

計測ユニットとの有線通信時に使用します。

8 電源コネクタ

専用の AC アダプタ (同梱) を接続します。(⇒ 14)

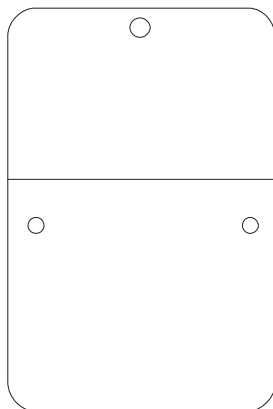
重要

- 通信コネクタには電話線または家庭内の LAN ケーブルを接続しないでください。

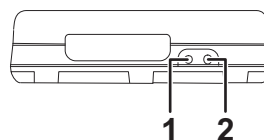
1.4 各部の名前と機能 (つづき)

計測ユニット

(正面図)



(底面図)



1 無線設定ランプ (⇒ 52)

- 緑色点灯：無線通信設定中
 - 緑色点滅：パワーコンディショナと通信中*
 - 消灯：パワーコンディショナと無通信
- ※ 通常は緑色点滅となります。

2 無線設定スイッチ (⇒ 52)

3 秒以上押し続けて無線設定を行います。



警告

ネジを外してカバーを開けたり、内部を手で触れないでください。
万一の場合、感電による傷害が起こる恐れがあります。



2.1 カラー表示ユニットの設置場所を変更する

カラー表示ユニットは通常施工時に設置済みです。

無線通信ができないなど現在の設置場所から変更したい場合のみ、下記に従って作業を行ってください。

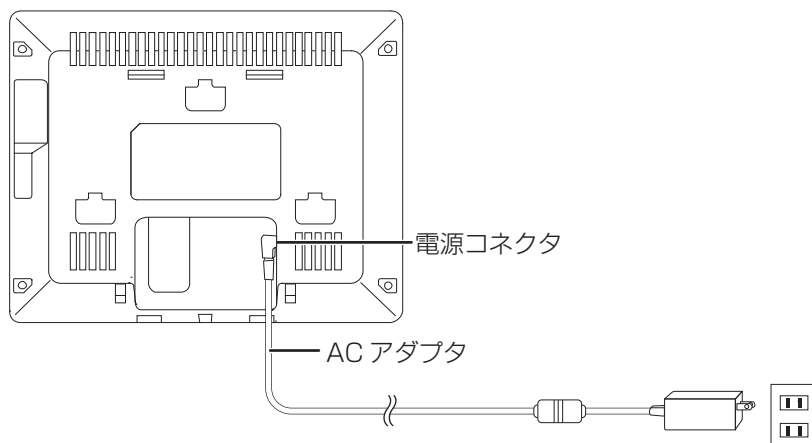
重要

- 「有線」設定に変更する場合や有線通信しているカラー表示ユニットの設置場所を変更する場合は、販売店に相談してください。


2.1.1 設置場所の無線通信の状態を確認する

1 カラー表示ユニットに接続されている AC アダプタを抜き、設置したい場所にカラー表示ユニットを移動させる

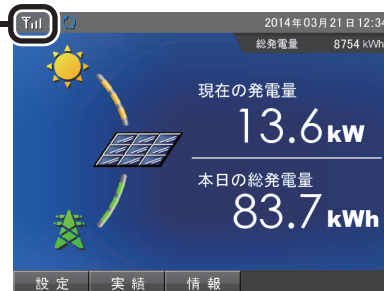
2 カラー表示ユニットの電源コネクタに AC アダプタ（同梱）をつなぎ、コンセントに差し込む



- カラー表示ユニットが起動し、メイン画面が表示されます。

3 通信状態アイコンが  になっているか確認する

通信状態
アイコン



- 通信状態アイコンで無線通信状態を確認できます。(⇒ 18)
- 通信状態が弱い場合は、設置場所を変えて、再度確認してください。
- 下記の原因によって、通信状態アイコンのアンテナ本数が 3 本立つ場所でも一時的に通信できない場合があります。
 - 環境ノイズによる影響
 - 周囲の電波環境の変化
 - カラー表示ユニットと計測ユニットの間に障害物がある
- 通信できない期間が 1 か月以内の場合は、通信可能な状態になったときにその間のデータを取得できます。
- 通信できない期間が 1 か月を超えると、実績情報などのグラフが欠落します。月に 1 度は実績画面でグラフの欠落が起きていないか確認することをお勧めします。(⇒ 22)
- 設置場所を変更しても無線通信が改善されない場合は「無線通信ができなくなった場合は（高機能設定）」(⇒ 47) をお読みください。

2.1 カラー表示ユニットの設置場所を変更する（つづき）

2.1.2 カラー表示ユニットを設置する

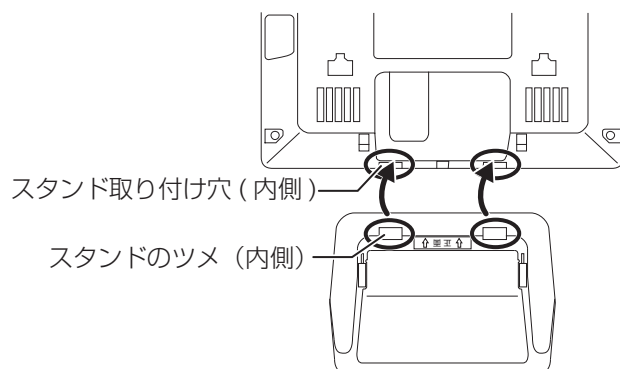
カラー表示ユニットは、下記の2種類の設置方法があります。

- 卓上設置 (⇒ 下記)
- 壁面設置 (⇒ 17)
- 設置時に AC アダプタのコネクタが抜けないように注意してください。

卓上に設置する

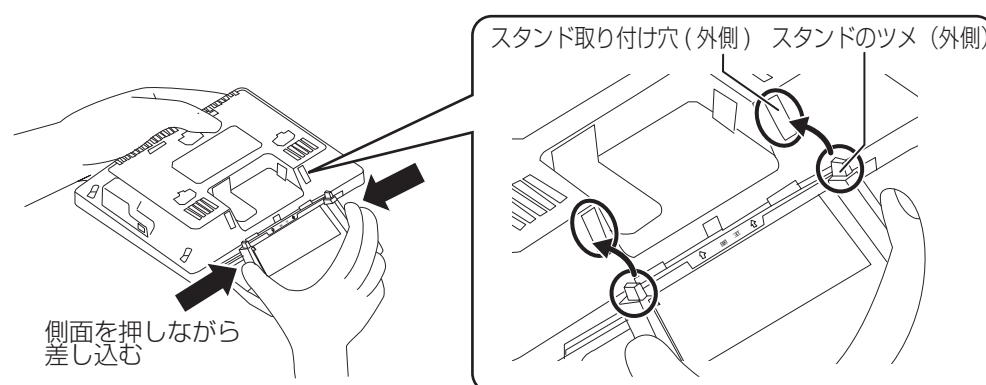
カラー表示ユニットに同梱のスタンドを取り付けて設置します。

1 スタンドのツメ（内側）を、カラー表示ユニットのスタンド取り付け穴（内側）へ引っ掛ける



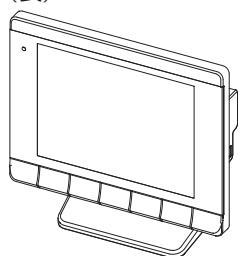
2 スタンドの側面を押しながら、スタンドのツメ（外側）をスタンド取り付け穴（外側）に差し込む

- スタンドのツメ（内側）をスタンド取り付け穴（内側）に引っ掛けた状態で差し込んでください。

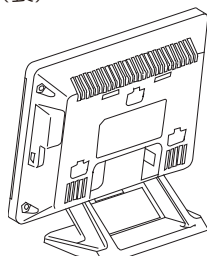


3 水平な場所に設置する

（表）



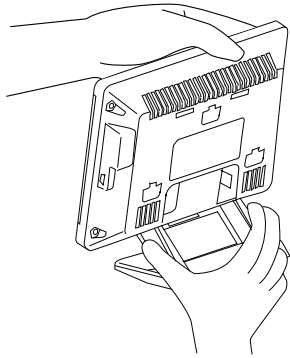
（裏）



2.1 カラー表示ユニットの設置場所を変更する（つづき）

■ スタンドの取り外し方

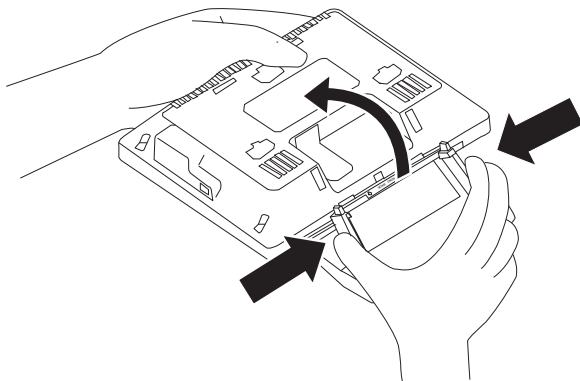
1 カラー表示ユニット上面とスタンドを手で持つ



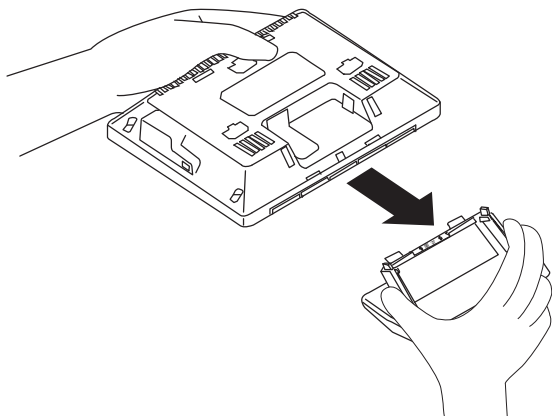
設置

2 スタンドの側面を矢印の向きに押しながら、カラー表示ユニットを液晶側に倒す

- スタンド取り付け穴（外側）からスタンドのツメ（外側）を外してください。
- 取り外す際にカラー表示ユニットを落とさないようにお気をつけください。



3 カラー表示ユニットのスタンド取り付け穴（内側）からスタンドのツメ（内側）を取り外す



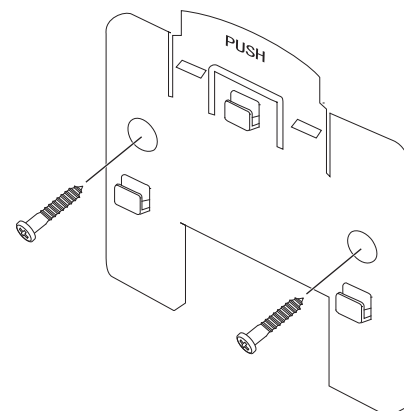
2.1 カラー表示ユニットの設置場所を変更する（つづき）

壁面に設置する

壁面への設置または壁面からの取り外しはお買い上げの販売店にご相談ください。お客様ご自身で設置を行う場合は、「安全上のご注意」(⇒ 4)を確認のうえ、下記に従って設置してください。

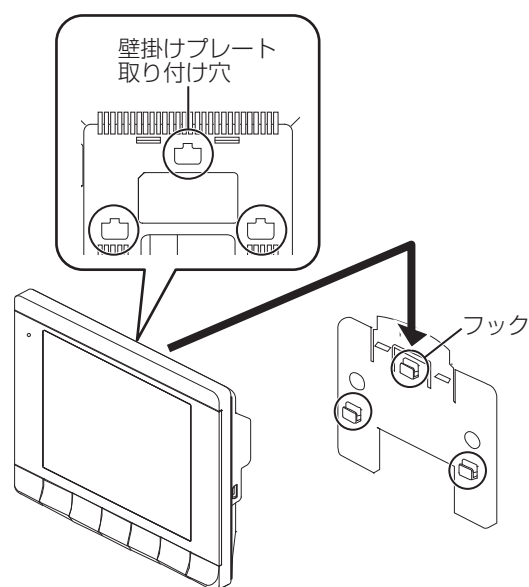
1 同梱の壁取り付け用木ネジ（2 個）で壁面に壁掛けプレートを取り付ける

- 垂直な壁にネジで確実に固定してください。



2 カラー表示ユニットの壁掛けプレート取り付け穴（3か所）を、壁掛けプレートのフック（3か所）に掛けて、下に押し下げる

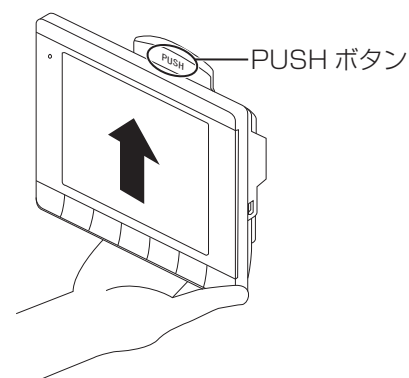
- 操作キーが下になるように取り付けてください。
- 「カチッ」と音がしてロックされるまで押し下げてください。



■ カラー表示ユニットの取り外し方

壁掛けプレートの PUSH ボタンを押しながら、カラー表示ユニットを持ち上げる

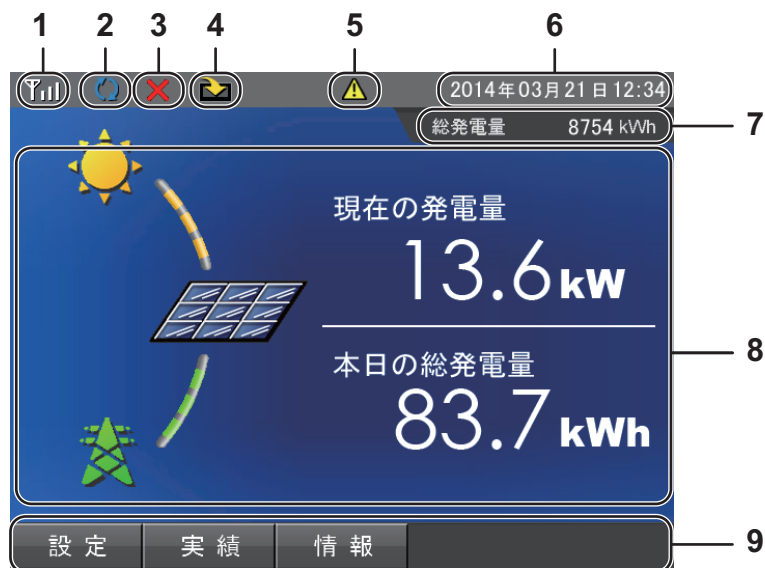
- 取り外す際にカラー表示ユニットを落とさないようにお気をつけてください。



3.1 画面の見方と操作方法

液晶画面が消灯している場合は、いずれかの操作キーを押すと画面が表示されます。

メイン画面



使
い
方

1 通信状態アイコン

計測ユニットとの通信状態を表示します。

無線通信の場合

アイコン	通信状態
	無線通信の通信状態を表示します。 ● 通信状態が弱いもしくは圏外のアイコンが表示される場合は、カラー表示ユニットの設置場所を変更してください。(⇒ 14)
	圏外

- 通信状態アイコンのアンテナの数は、通信の成功率を示しています。

有線通信の場合

アイコン	通信状態
	有線通信で接続中です。
	通信が切断しています。 お買い上げの販売店にご相談ください。

2 パワーコンディショナの運転モードアイコン




パワーコンディショナの運転状態を表示します。

アイコン	運転モード	説明
	連系 運転中	通常時の運転モードです。太陽光発電で発電した電力を電力会社へ売電します。
	自立 運転中	停電時の運転モードです。太陽電池の電力を専用の「停電用コンセント」から使用できます。
	停止中	パワーコンディショナが停止中です。



- パワーコンディショナが 1 台でも連系運転中であれば、連系運転中アイコンが表示されます。
- すべてのパワーコンディショナが自立運転中または停止中であれば、自立運転中アイコンまたは停止中アイコンが表示されます。

3.1 画面の見方と操作方法 (つづき)

- 3 パワーコンディショナ間通信異常・抑制表示アイコン**
 パワーコンディショナ間の通信異常またはパワーコンディショナの運転が抑制されている場合に表示します。(通常は表示されません。)

アイコン	説明
	パワーコンディショナ間通信異常： パワーコンディショナと計測ユニット間の通信が異常な状態です。(異常履歴には残りません。)
	電圧上昇抑制： 商用系統の電圧が高くなり、パワーコンディショナの出力を抑えている状態です。
	温度上昇抑制： パワーコンディショナ内部の温度が高くなり、パワーコンディショナの出力を抑えている状態です。(異常履歴には残りません。)

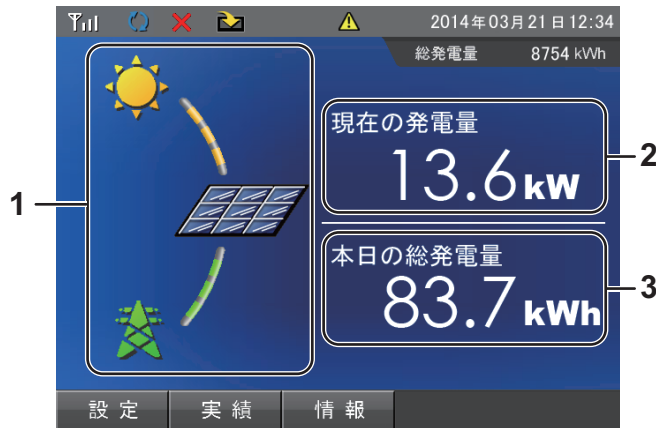
- パワーコンディショナが 1 台でも上記の状態になるとアイコンが表示されます。
- 上記の状態が同時に発生した場合は、以下の優先順でアイコンが表示されます。
 - ① パワーコンディショナ間通信異常
 - ② 温度上昇抑制
 - ③ 電圧上昇抑制
- パワーコンディショナ間通信異常アイコンは、16 時 00 分～翌 7 時 59 分の時間帯は表示されません。
- 電圧上昇抑制アイコンが表示されている場合、電圧上昇抑制の履歴を確認してください。(⇒ 27)

- 4 データ取得状況アイコン** 
 電源を「ON」にした直後や計測ユニットからの受信データが多い場合など、カラー表示ユニットがデータを受信中に表示されます。(通常は表示されません。)
- 5 エラーアイコン** 
 エラー発生時に表示します。(通常は表示されません。)
 ● エラー内容は異常履歴で確認できます。(⇒ 41)
- 6 日付 / 時刻**
 現在の日付と時刻を表示します。
 ● 変更するには 34 ページをお読みください。
- 7 総発電量**
 発電開始日から現在までの総積算電力量を表示します。
- 8 電力情報 (⇒ 20)**
 現在の発電量の数値や本日の総発電量を表示します。
- 9 操作キーアイコン (⇒ 20)**
 操作キーの名称を表示します。

3.1 画面の見方と操作方法 (つづき)

3.1.1 電力情報の見方

メイン画面では、現在の発電量の数値や本日の総発電量の数値を確認できます。また、発電状況をイラストで分かりやすくお知らせします。



1 発電イメージ

現在の発電量の数値により、イメージが変化します。

発電量	1kW 以上	1kW 未満	0kW
イメージ			

2 現在の発電量

現在の発電量の数値を表示します。

3 本日の総発電量

今日の午前 0 時から現在時刻までの総発電量を表示します。

使
い
方

- メイン画面や実績画面などに表示される数値は、すべて四捨五入された値が表示されます。例えば、「3.14kWh」の場合は「3.1kWh」と表示され、「3.15kWh」の場合は「3.2kWh」と表示されます。このように、表示される数値は、真の値とは完全に一致しない場合があります。PC ツールで保存した実績データは、カラー表示ユニットで表示する値と異なり、四捨五入した値ではなく真の値で保存されます。

3.1.2 操作キーの使い方

カラー表示ユニットは操作キーを押して操作します。

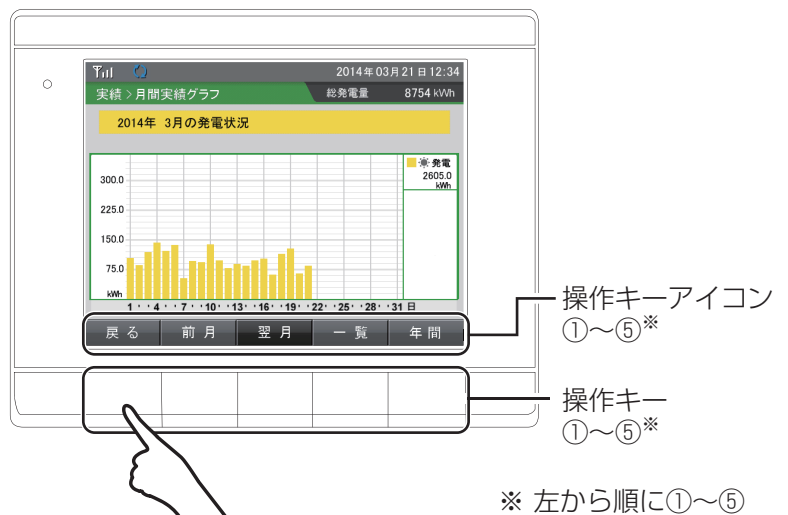
図のように操作キー①～⑥の上には、操作キーアイコン①～⑥が表示されます。

操作キーアイコンは画面によって名前や役割が異なります。

例えば、右の画面で「戻る」(操作キーアイコン①)の操作がしたい場合は、その下の操作キー①を押してください。

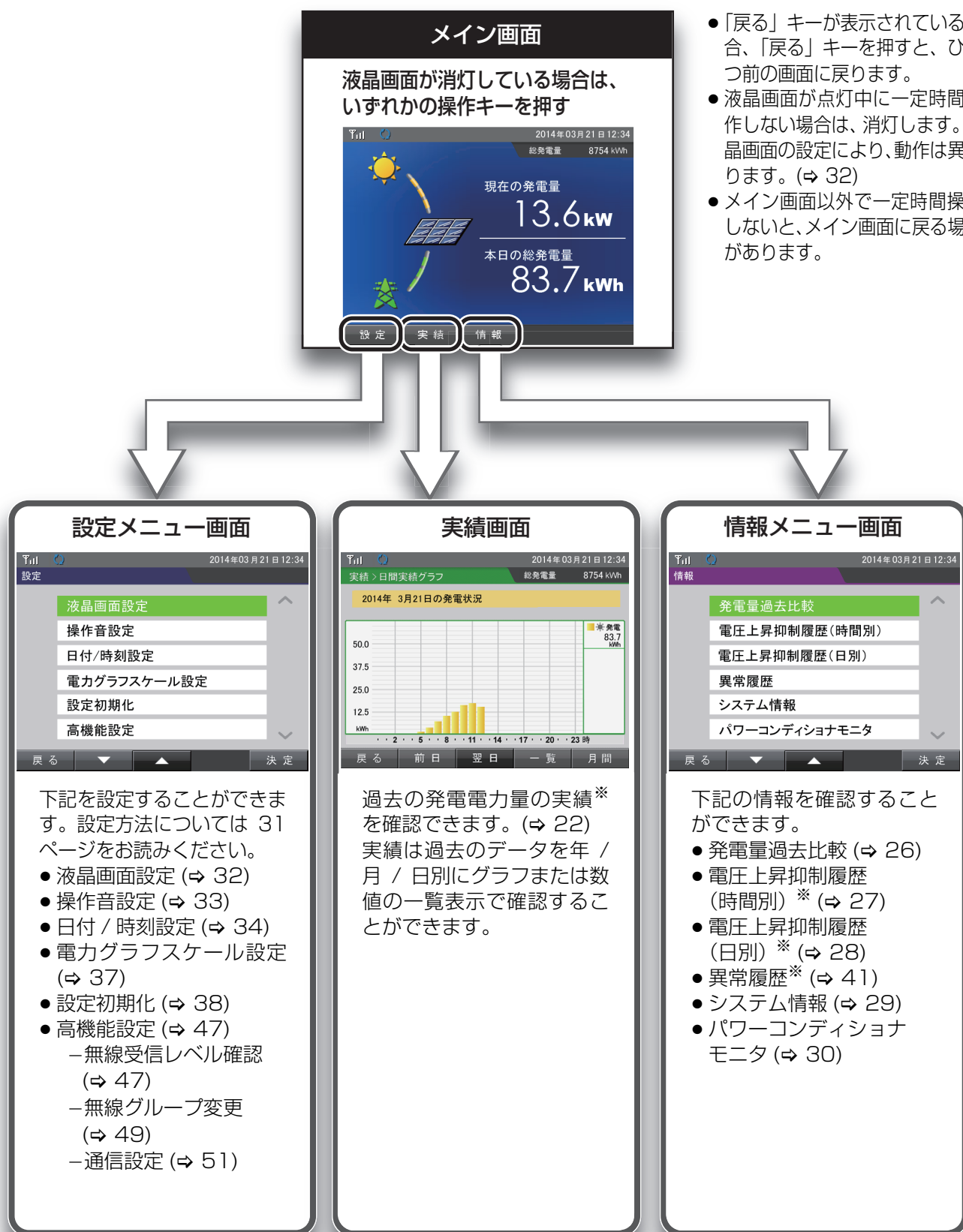
このような操作を、本書では[「戻る」キーを押す]と表現しています。

- 画面によっては、操作キーアイコンが5つ表示されない場合もあります。
- 液晶画面が消灯している場合は、いずれかの操作キーを押すと画面が表示されます。



※ 左から順に①～⑤

3.2 メイン画面の操作



- 「戻る」キーが表示されている場合、「戻る」キーを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
- 液晶画面が点灯中に一定時間操作しない場合は、消灯します。液晶画面の設定により、動作は異なります。(⇒ 32)
- メイン画面以外で一定時間操作しないと、メイン画面に戻る場合があります。

※ PC ツールを使ってパソコンに保存することができます。(⇒ 40)

3.3 過去の発電実績を確認する

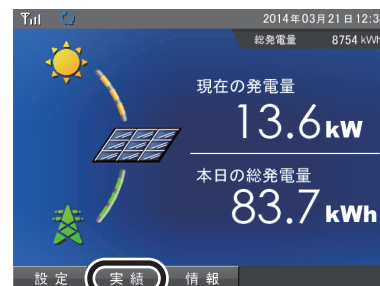
過去の発電電力量の実績を年 / 月 / 日別に確認できます。

重要

- カラー表示ユニットの AC アダプタは常時コンセントへ差し込んで使用してください。
AC アダプタを 1 か月以上外すと、その期間の詳細なデータが取得できなくなりグラフ等が欠落します。

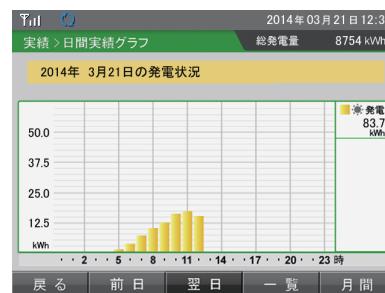
1 メイン画面 (⇒ 21) で「実績」キーを押す

- 実績画面 (グラフ表示) が表示されます。



2 実績を確認する

- 今日の午前 0 時から現在時刻までの日間実績 (グラフ表示) が表示されます。
- 日間実績 / 月間実績 / 年間実績を切り替えて、過去の実績を確認できます。
(⇒ 24)



3.3 過去の発電実績を確認する（つづき）

■ グラフの見方

（例）日間実績のグラフ



1 電力グラフスケール

日間グラフ、月間グラフ、年間グラフごとに電力量 (kWh) の表示範囲は異なります。

グラフが振り切れたり小さすぎる場合は、電力量にあわせて電力グラフスケールを設定してください。(⇒ 37)

2 グラフエリア

発電電力量の実績を棒グラフで表示します。

- 実績がない期間は、0kWhとして表示します。

3 電力量表示エリア

表示しているグラフの合計電力量を表示します。

4 タイムスケール

タイムスケールの目盛は、下記のようにグラフによって異なります。

- 日間グラフ：1時間ごと
- 月間グラフ：1日ごと
- 年間グラフ：1か月ごと

3.3 過去の発電実績を確認する（つづき）

■ 実績画面でグラフ表示を年 / 月 / 日ごとに切り替える

「日間」キー / 「月間」キー / 「年間」キーを押して、切り替えます。



日間実績（グラフ表示）

- グラフは 1 時間ごとの棒グラフで 24 時間分表示されます。
- 今日の午前 0 時から現在時刻までの日間実績（グラフ表示）がはじめに表示されます。
- 「前日」/「翌日」キーを押すと、0:00 ~ 23:59 のデータを 1 日として過去 31 日分までさかのぼって実績を確認できます。
- 「一覧」キーを押すと、現在表示中の年月日の実績を数値の一覧で確認できます。(⇒ 25)
- 最新表示を確認する際は、一旦「戻る」キーを押して、再度本画面を表示させてください。



月間実績（グラフ表示）

- グラフは 1 日ごとの棒グラフで 1 か月分表示されます。
- 今月の 1 日から今日までの月間実績（グラフ表示）がはじめに表示されます。
- 「前月」/「翌月」キーを押すと、1 日～月末のデータを 1 か月として過去 12 か月分までさかのぼって実績を確認できます。
- 「一覧」キーを押すと、現在表示中の年月の実績を数値の一覧で確認できます。(⇒ 25)
- 最新表示を確認する際は、一旦「戻る」キーを押して、再度本画面を表示させてください。



年間実績（グラフ表示）

- グラフは 1 か月ごとの棒グラフで 12 か月分表示されます。
- 今年の 1 月から今年までの年間実績（グラフ表示）がはじめに表示されます。
- 「前年」/「翌年」キーを押すと、1 月～ 12 月のデータを 1 年として過去 20 年分までさかのぼって実績を確認できます。
- 「一覧」キーを押すと、現在表示中の年の実績を数値の一覧で確認できます。(⇒ 25)
- 最新表示を確認する際は、一旦「戻る」キーを押して、再度本画面を表示させてください。

3.3 過去の発電実績を確認する（つづき）

■ 実績画面をグラフ表示から数値の一覧表示に切り替える

1 実績画面（グラフ表示）で「一覧」キーを押す

- グラフ表示で表示していた期間の実績を数値の一覧で表示します。

（例）日間実績（グラフ表示）から表示するとき



↓

2014年 3月21日の発電状況 (単位:kWh)			
時刻	発電	時刻	発電
00:00	0.0	06:00	3.8
01:00	0.0	07:00	7.5
02:00	0.0	08:00	10.4
03:00	0.0	09:00	12.5
04:00	0.0	10:00	16.2
05:00	0.8	11:00	17.3

2 一覧を確認する

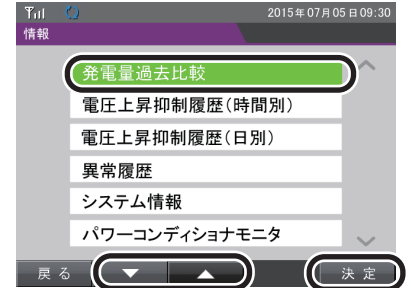
- 「▼」 / 「▲」キーが表示されている場合は、「▼」 / 「▲」キーを押すと次 / 前のページに移動します。
- 最新表示を確認する際は、一旦「戻る」キーを押して、再度本画面を表示させてください。
- 実績一覧は PC ツールを使ってパソコンに保存することができます。
(⇒ 40)

3.4 情報を確認する

3.4.1 過去の発電電力量と比較する（発電量過去比較）

年間の総発電電力量の実績を今年と過去の年で比較できます。

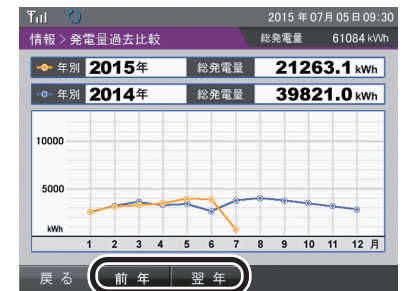
1 情報メニュー画面 (⇒ 21) で「▼」 / 「▲」 キーを押して「発電量過去比較」を選択し、「決定」キーを押す



2 「前年」 / 「翌年」 キーを押して、表示したい年に変更する

(例) 2014年と2015年を比較しているとき

- 1月～12月のデータを1年として過去20年分までさかのぼって、今年とのデータと比較することができます。
- 今年と過去の年の実績（総発電量）が数値で表示されます。
- グラフは1か月ごとの実績を折れ線グラフで12か月分表示します。
- 今年の実績：黄色の線 (🔌) - 過去の実績：青色の線 (🔌)
- グラフが振り切れたり小さすぎる場合は、電力量にあわせて電力グラフスケールを設定してください。(⇒ 37)
- 実績がない期間は、0kWhとして表示します。



3.4 情報を確認する (つづき)

3.4.2 パワーコンディショナの電圧上昇抑制の履歴を確認する

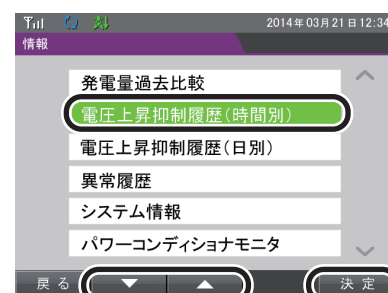
電圧上昇抑制アイコン (⇒ 19) が表示されている場合、電圧上昇抑制履歴で頻度や時間を確認してください。発生頻度が高い場合や長期間復帰していない場合は、販売店に相談してください。

電圧上昇抑制履歴は、下記の2種類の確認方法があります。

- 発生時間別に電圧上昇抑制履歴を確認する (⇒ 下記)
- 日付別に電圧上昇抑制履歴を確認する (⇒ 28)
- 電圧上昇抑制機能は、システムを安全に運用するための機能です。発生頻度が低い場合や短期間の場合は、システムの異常ではありません。
- 電圧上昇抑制履歴の発電電力量に表示される数値は、すべて四捨五入された値が表示されます。例えば、「12.4kWh」の場合は「12kWh」と表示され、「12.5kWh」の場合は「13kWh」と表示されます。このように、表示される数値は、真の値とは完全に一致しない場合があります。
- 日をまたぐ日付 / 時刻設定や停電によって、電圧上昇抑制履歴に影響する場合があります。

発生時間別に電圧上昇抑制履歴を確認する (電圧上昇抑制履歴 (時間別))

- 1 情報メニュー画面 (⇒ 21) で「▼」 / 「▲」キーを押して「電圧上昇抑制履歴 (時間別)」を選択し、「決定」キーを押す



発生日	発生時刻	復帰時刻	ユニットNo.	系統電圧
2014/01/08	15:38	15:58	01	109.0 V
2014/01/15	11:44	11:44	01	109.0 V
2014/01/23	15:18	15:19	02	109.1 V
2014/01/28	14:34	14:34	02	109.1 V
2014/02/03	15:01	---	01	109.1 V
2014/03/21	12:33		01	109.0 V

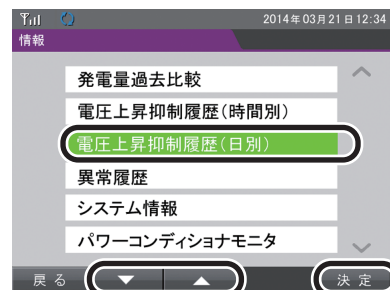
- 2 電圧上昇抑制履歴 (時間別) を確認する

- 電圧上昇抑制履歴 (時間別) は、電圧上昇抑制が発生した日時や復帰時間、発生したパワーコンディショナのユニット No.、発生時の系統電圧値を記録します。(最大 100 件まで)
- 「▼」 / 「▲」キーを押すと、次 / 前のページに移動します。
- 電圧上昇抑制履歴 (時間別) は随時更新されます。

3.4 情報を確認する (つづき)

日付別に電圧上昇抑制履歴を確認する (電圧上昇抑制履歴 (日別))

- 1** 情報メニュー画面 (⇒ 21) で「▼」 / 「▲」キーを押して「電圧上昇抑制履歴 (日別)」を選択し、「決定」キーを押す



日付	発電電力量	運転時間	抑制時間
2014/03/15	100kWh	317分	0分
2014/03/16	105kWh	343分	0分
2014/03/17	62kWh	138分	8分
2014/03/18	115kWh	365分	3分
2014/03/19	130kWh	398分	0分
2014/03/20	65kWh	229分	13分

2 電圧上昇抑制履歴 (日別) を確認する

- 電圧上昇抑制履歴 (日別) は、パワーコンディショナの1日の発電電力量と運転時間 / 抑制時間 (電圧上昇抑制機能が働いていた時間) を毎日記録しています。(電圧上昇抑制機能が働かなかった日は、抑制時間 0 分と記録されます)
- 「▼」 / 「▲」キーを押すと、次 / 前のページに移動します。(過去 31 日までさかのぼって確認できます。)
- 電圧上昇抑制履歴 (日別) は午前 0 時に更新されます。
- 運転開始時は、運転開始日の前日が履歴として表示されますが問題ありません。そのままご使用ください。

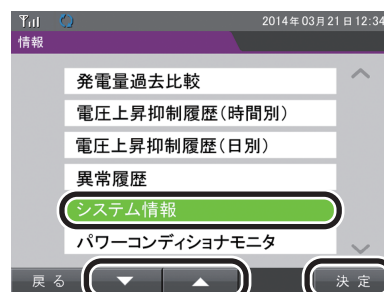
3.4 情報を確認する (つづき)

3.4.3 太陽光発電システムの情報を確認する (システム情報)

太陽光発電システムに異常がないか確認できます。

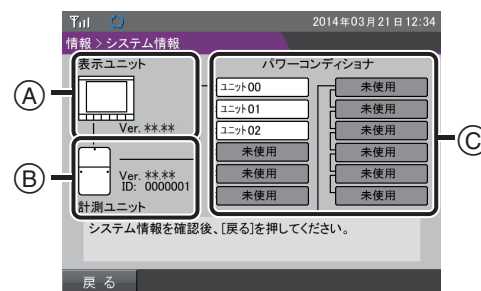
1 情報メニュー画面 (⇒ 21) で「▼」/「▲」キーを押して「システム情報」を選択し、「決定」キーを押す

- 計測ユニットとの通信が完了すると、システム情報画面が表示されます。



2 パワーコンディショナと計測ユニットが通信していることを確認する

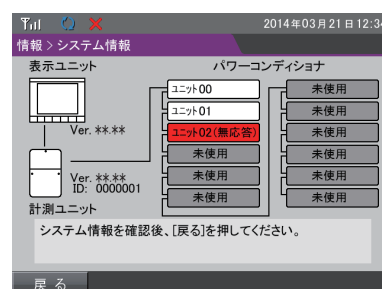
- Ⓐ カラー表示ユニットのソフトウェアバージョン
- Ⓑ 計測ユニットのソフトウェアのバージョン、ID No.
- Ⓒ パワーコンディショナの接続状態



(画面の Ver. **.**.**. にはソフトウェア Ver. が表示されます。)

パワーコンディショナと通信できない場合

- 「ユニット xx (無応答)」(xx: 各パワーコンディショナのユニット No.) と表示され、背景が赤色になっているパワーコンディショナは、計測ユニットと通信していません。販売店にご相談ください。



(画面の Ver. **.**.*. にはソフトウェア Ver. が表示されます。)

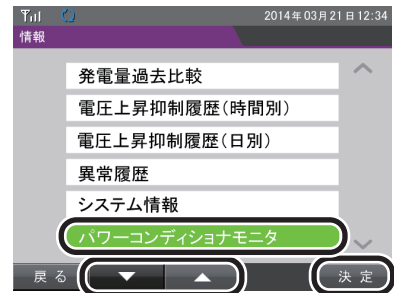
3.4 情報を確認する (つづき)

3.4.4 パワーコンディショナの内部計測値を確認する (パワーコンディショナモニタ)

接続しているパワーコンディショナごとに運転状況 (内部計測値) を確認できます。

- 無線通信状況によっては、計測値が遅れて表示される場合があります。

1 情報メニュー画面 (⇒ 21) で「▼」 / 「▲」キーを押して「パワーコンディショナモニタ」を選択し、「決定」キーを押す



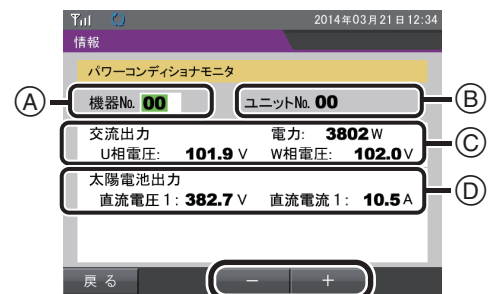
2 「-」 / 「+」キーを押して、機器 No. を選択する

- 選択した機器 No. のパワーコンディショナの運転状況が表示されます。

- Ⓐ パワーコンディショナの機器 No.
- Ⓑ パワーコンディショナのユニット No.
- Ⓒ パワーコンディショナの出力電力 (交流)、U 相電圧、W 相電圧
- Ⓓ パワーコンディショナに入力される直流電圧と直流電流 (太陽電池の出力) ※

※ パワーコンディショナ TPV-** R-M*をお使いの場合は、最大 4 つの太陽電池の出力が表示されます。各太陽電池の出力は順番に更新され、更新時は 1 秒間青字で表示されます。

TPV-** M、TPV-** M-J4、TPV-PCSO ** 0B の場合



TPV-** R-M*の場合



3.5 各種設定をする

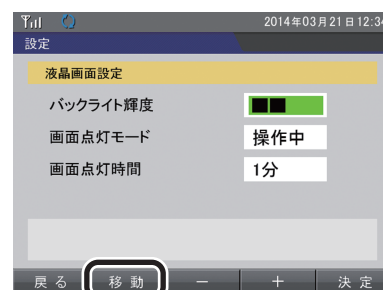
はじめに各種設定画面での基本的な操作方法について説明します。(液晶画面設定を例にします)



- ① 「移動」 キー
カーソルを移動します。カーソルは、選択箇所の背景色が緑、変更箇所の文字色が青で表示されます。
- ② 「-」 / 「+」 キー
選択した設定値を変更します。
- ③ 「決定」 キー
現在表示されている内容で設定変更を実行します。

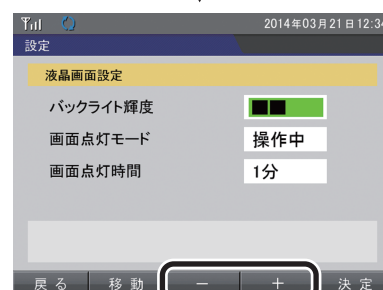
1 「移動」 キーを押して、変更する項目を選ぶ

- 現在、選択している設定値の背景色は緑色で表示されています。



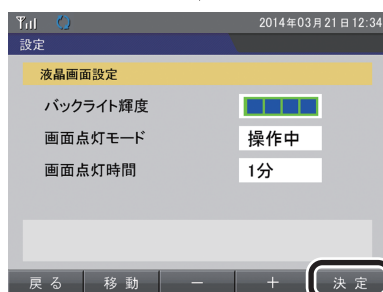
2 「-」 / 「+」 キーを押して、設定を変更する

- 設定値を変更すると、変更した数値が青色になります。



3 「決定」 キーを押して、設定値を保存する

- 設定値が反映されたら設定値の文字色が黒色で表示されます。
- 「決定」 キーを押す前に「戻る」 キーを押すと、ひとつ前の画面に戻り、設定は反映されません。

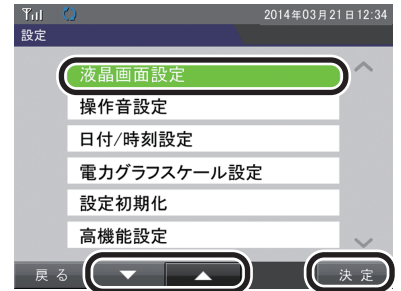


3.5 各種設定をする（つづき）

3.5.1 液晶画面の明るさや点灯のモードを設定する（液晶画面設定）

液晶画面の明るさや点灯モードを設定できます。

- 1 設定メニュー画面 (⇒ 21) で「▼」/「▲」キーを押して「液晶画面設定」を選択し、「決定」キーを押す

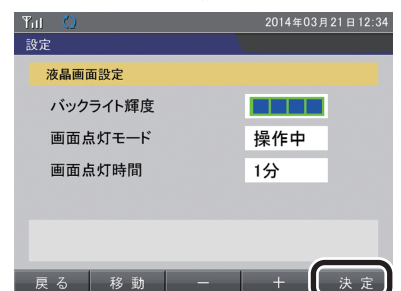
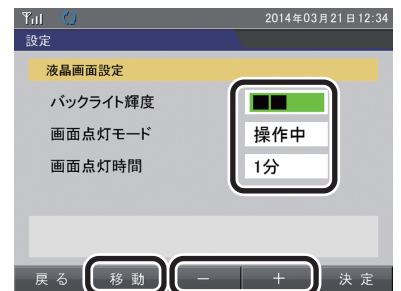


- 2 「移動」キーを押してカーソルを移動し、「-」/「+」キーを押して設定を変更する

- 設定範囲：（太字は初期値）

項目	設定
バックライト輝度	バックライトの明るさを4段階で調整できます。 レベル1(■)/レベル2(■■)/レベル3(■■■)/レベル4(■■■■) 暗 ←————→ 明
画面点灯モード	液晶画面が点灯する条件を設定できます。 操作中 ： 画面表示中に無操作状態が一定時間以上続く場合は、液晶画面が消灯します。 発電中 ： 太陽光発電中は常に液晶画面が点灯し、発電停止中は「操作中」設定と同じ動作となります。
画面点灯時間	無操作状態で液晶画面が消灯するまでの時間を設定できます。無操作時間が設定値を超えた場合、液晶画面を消灯します。一部消灯を行わない画面もあります。 30秒/ 1分 /5分/10分

- 変更した設定は、青色で表示されます。



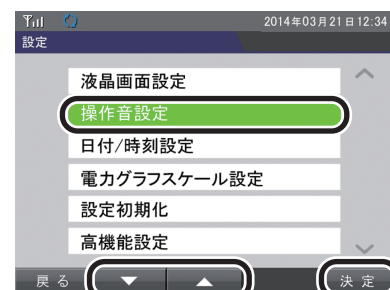
- 3 「決定」キーを押す

3.5 各種設定をする (つづき)

3.5.2 キー操作音の設定をする (操作音設定)

キー操作音の ON/OFF を設定できます。

- 1 設定メニュー画面 (⇒ 21) で「▼」 / 「▲」 キーを押して「操作音設定」を選択し、「決定」キーを押す



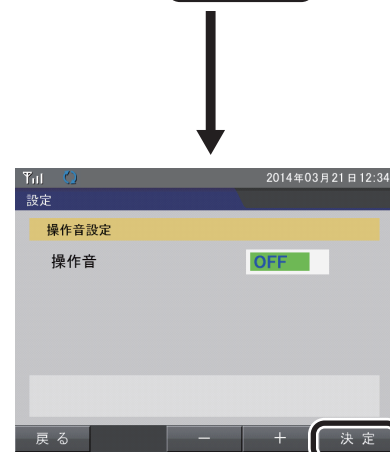
- 2 「-」 / 「+」 キーを押して設定を変更する

- 設定範囲：(太字は初期値)

項目	設定
操作音	キー操作音の ON/OFF が設定できます。 ON : キー操作音を出します。(音量の調整はできません) OFF : キー操作音を出しません。

- 変更した設定は、青色で表示されます。

- 3 「決定」 キーを押す



3.5 各種設定をする（つづき）

3.5.3 日付と時刻を変更する（日付 / 時刻設定）

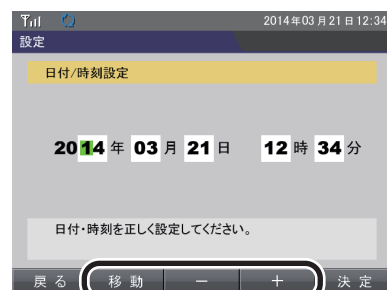
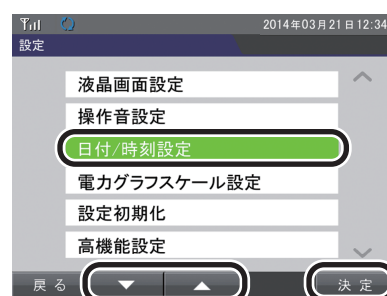
システムの日付と時刻を設定します。

設置時にすでに設定してある場合は、設定の必要はありません。日付と時刻が正しくない場合のみ設定を変更してください。

重要

- 1か月以上の変更を行うと実績データや、これまでに蓄積した運用情報に影響を与えることがあります。実績データへの影響については、「日付 / 時刻の変更による実績データへの影響」(⇒ 36)をお読みください。
- 日をまたぐ変更を行うと電圧上昇抑制履歴に影響する場合があります。

- 1 設定メニュー画面 (⇒ 21) で「▼」 / 「▲」キーを押して「日付 / 時刻設定」を選択し、「決定」キーを押す



- 2 「移動」キーを押してカーソルを移動し、「-」 / 「+」キーを押して日付 / 時刻を変更する

- 設定範囲：

項目	西暦 (下2桁)	月	日	時	分
設定範囲	14 ~ 99	01 ~ 12	01 ~ 31	00 ~ 23	00 ~ 59

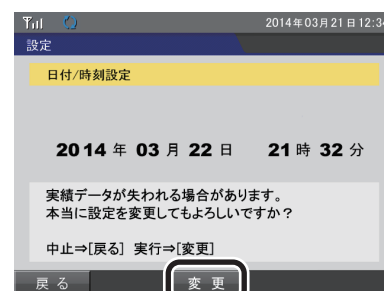
- 変更した数値は、青色で表示されます。
- 操作を繰り返して、年 / 月 / 日 / 時 / 分の順で設定してください。

- 3 「決定」キーを押す

3.5 各種設定をする（つづき）

4 表示を確認して、「変更」キーを押す

- 誤って日付 / 時刻を変更すると、実績データが消える場合がありますのでお気をつけください。
- 日付 / 時刻を変更した場合、実績データの更新に時間がかかります。
- 通信が完了すると、設定後の日付 / 時刻が表示されます。正しく設定されているか確認してください。
- 時計の秒は、時計の変更を実施した時点で「00 秒」から始まります。



5 日付 / 時刻が変更されたことを確認する



3.5 各種設定をする (つづき)

■ 日付 / 時刻の変更による実績データへの影響

発電電力量の実績データは、1 時間ごとの毎時 00 分に保存されているため、日付 / 時刻を変更すると実績データに影響を与えることがあります。

- 設定内容を確定する際は、必ず画面の表示をご確認ください。

日付 / 時刻変更時の実績データへの影響については、下記の例をご覧ください。

● 日付 / 時刻を進めた場合

	変更前	変更後																								
日付 / 時刻	2014/3/21 10:20	2014/3/21 12:20																								
データイメージ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>2014/3/21</th> </tr> <tr> <th>時刻</th> <th>発電</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:00</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>9:00</td> <td>7.4</td> </tr> <tr> <td>10:00</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table>	日付	2014/3/21	時刻	発電	8:00	5.9	9:00	7.4	10:00	3.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>2014/3/21</th> </tr> <tr> <th>時刻</th> <th>発電</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:00</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>9:00</td> <td>7.4</td> </tr> <tr> <td>10:00</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>11:00</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	日付	2014/3/21	時刻	発電	8:00	5.9	9:00	7.4	10:00	3.0	11:00	0.0	12:00	
日付	2014/3/21																									
時刻	発電																									
8:00	5.9																									
9:00	7.4																									
10:00	3.0																									
日付	2014/3/21																									
時刻	発電																									
8:00	5.9																									
9:00	7.4																									
10:00	3.0																									
11:00	0.0																									
12:00																										
グラフイメージ																										
影響内容	① 10:00 ~ 10:20 までが実績データとして記録されます。 ② 11:00 の実績データがないため、「0.0kWh」として記録されます。 ③ 12:00 のデータ取得は 12:20 から開始し、実績は 12:20 ~ 13:00 までの実績データが記録されます。																									

● 日付 / 時刻を戻した場合

	変更前	変更後																												
日付 / 時刻	2014/3/21 12:20	2014/3/21 10:20																												
データイメージ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>2014/3/21</th> </tr> <tr> <th>時刻</th> <th>発電</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:00</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>9:00</td> <td>7.4</td> </tr> <tr> <td>10:00</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>11:00</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table>	日付	2014/3/21	時刻	発電	8:00	5.9	9:00	7.4	10:00	3.0	11:00	3.6	12:00	2.4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>2014/3/21</th> </tr> <tr> <th>時刻</th> <th>発電</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:00</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>9:00</td> <td>7.4</td> </tr> <tr> <td>10:00</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>11:00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	日付	2014/3/21	時刻	発電	8:00	5.9	9:00	7.4	10:00	9.0	11:00		12:00	
日付	2014/3/21																													
時刻	発電																													
8:00	5.9																													
9:00	7.4																													
10:00	3.0																													
11:00	3.6																													
12:00	2.4																													
日付	2014/3/21																													
時刻	発電																													
8:00	5.9																													
9:00	7.4																													
10:00	9.0																													
11:00																														
12:00																														
グラフイメージ																														
影響内容	① 10:00 ~ 12:20 までの実績データは、10:00 の実績データとして集約されます。 ② 11:00 と 12:00 の実績データは 10:00 に集約されるため表示されません。 ③ 10:00 のデータ取得は 10:20 から開始し、10:20 ~ 11:00 までの実績データが①に加算されます。																													

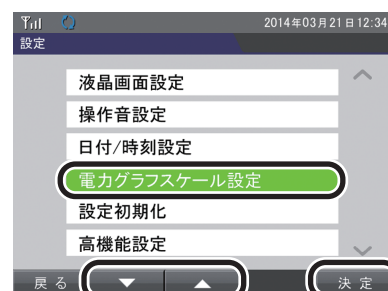
3.5 各種設定をする (つづき)

3.5.4 各種グラフの電力グラフスケールを設定する (電力グラフスケール設定)

各種電力グラフの電力量(縦軸)の表示範囲を設定できます。過去の実績データとして表示できる「日間実績」、「月間実績」、「年間実績」のグラフに適用されるほか、その他のグラフ表示においても表示単位の同じものには本設定が適用されます。

グラフが振り切れたり小さすぎる場合は、電力量にあわせて電力グラフスケール設定を変更してください。

- 1 設定メニュー画面(⇒21)で「▼」/「▲」キーを押して「電力グラフスケール設定」を選択し、「決定」キーを押す

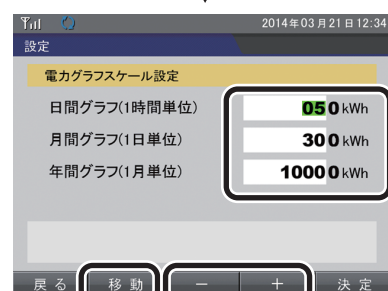


- 2 「移動」キーを押してカーソルを移動し、「-」/「+」キーを押して設定を変更する

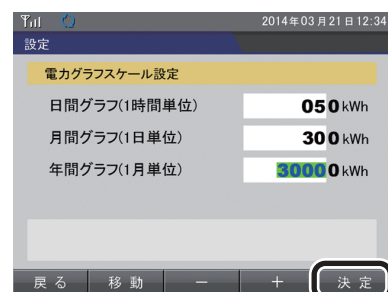
- 設定範囲：(太字は初期値)

項目	設定
日間グラフ (1時間単位)	日間グラフの表示範囲を設定できます。 10kWh ~ 50kWh ~ 100kWh (10kWh 刻み)
月間グラフ (1日単位)	月間グラフの表示範囲を設定できます。 10kWh ~ 300kWh ~ 1000kWh (10kWh 刻み)
年間グラフ (1月単位)	年間グラフの表示範囲を設定できます。 100kWh ~ 10000kWh ~ 30000kWh (100kWh 刻み)

- 変更した数値は、青色で表示されます。



- 3 「決定」キーを押す



3.5 各種設定をする（つづき）

3.5.5 設定を初期化する（設定初期化）

設定したデータを初期値に戻します。下表の設定が初期値に戻ります。

- 日付 / 時刻設定は初期化されません。

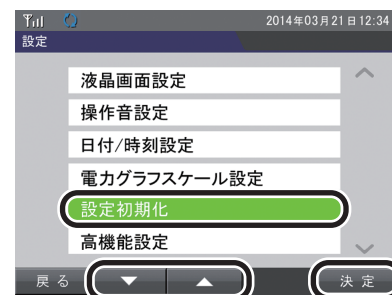
項目	設定	初期値
液晶画面設定	バックライト輝度	レベル 2
	画面点灯モード	操作中
	画面点灯時間	1 分
操作音設定	操作音	ON
電力グラフスケール設定	日間グラフ	50[kWh]
	月間グラフ	300[kWh]
	年間グラフ	10000[kWh]

重要

- 設定初期化を実行した場合、設定を元に戻すことはできません。十分確認のうえ、行ってください。

使い方

- 1 設定メニュー画面（⇒ 21）で「▼」 / 「▲」キーを押して「設定初期化」を選択し、「決定」キーを押す

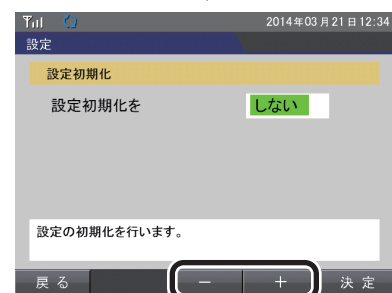


- 2 「-」 / 「+」キーを押して「する」を選択する

- 設定範囲：

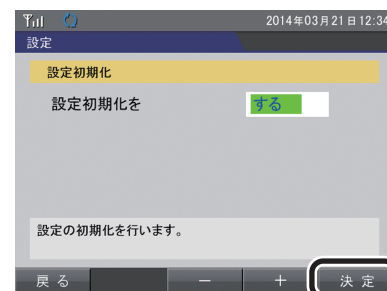
項目	設定
設定初期化	する： 設定を初期化します。 しない： 初期化はしません。

- 変更した設定は、青色で表示されます。

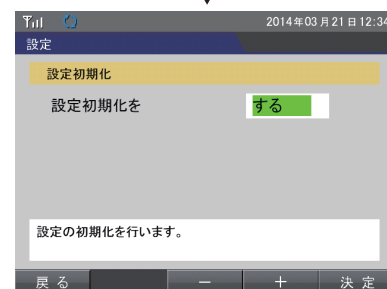
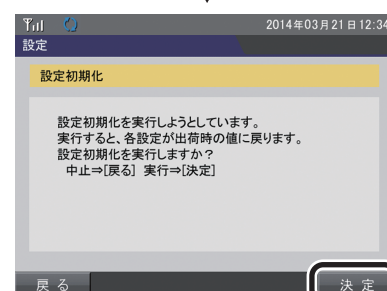


3.5 各種設定をする (つづき)

3 「決定」キーを押す



4 「決定」キーを押す



使い方

3.6 実績データなどをパソコンに保存する

カラー表示ユニットとパソコンを市販の USB ケーブル（ミニ B オス）で接続すると、実績データや電圧上昇抑制履歴（時間別） / 電圧上昇抑制履歴（日別） / 異常履歴をパソコンに保存することができます。

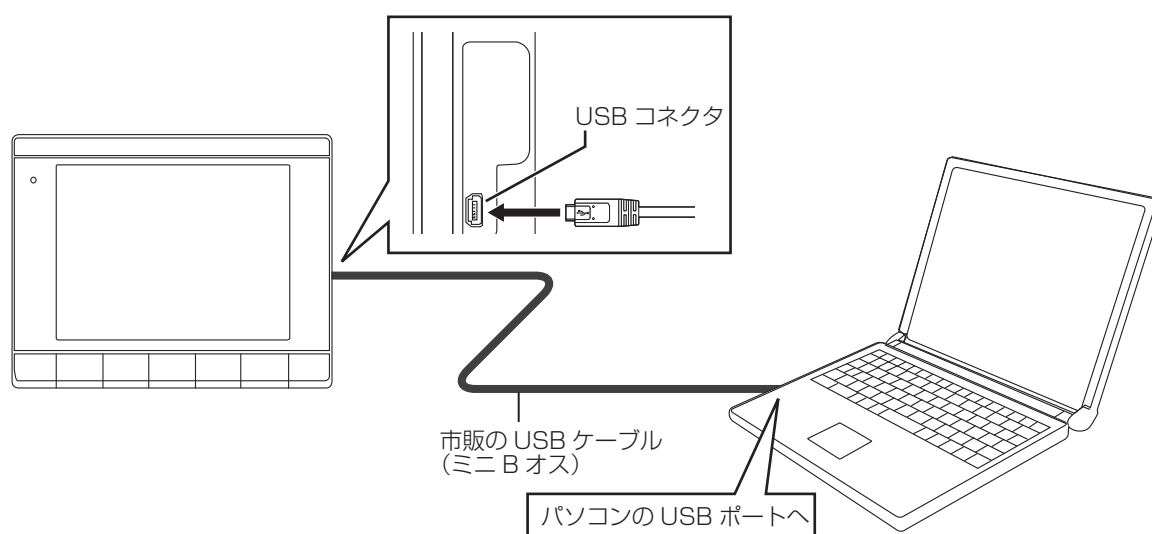
- 本製品には、USB ケーブル（ミニ B オス）は付属されていません。お客様にてご用意ください。

1 PC ツールをパソコンにダウンロードする

- パソコンで下記の WEB サイトにアクセスして、ダウンロードしてください。
アドレス：http://www.toshiba.co.jp/sis/h-solar/powerful/display/index_j.htm

2 パソコンとカラー表示ユニットを USB ケーブル（ミニ B オス）で接続する

- カラー表示ユニットは、AC アダプタを使用してコンセントと接続されていることを確認してください。



3 PC ツールを使って、データをパソコンに保存する

- 実績データ / 電圧上昇抑制履歴（時間別） / 電圧上昇抑制履歴（日別） / 異常履歴をパソコンに保存できます。
- 詳細な使用方法は、PC ツールに添付している「PC ツール取扱説明書」を参照してください。
- PC ツールで保存した実績データは、カラー表示ユニットで表示する値と若干異なります。カラー表示ユニットで表示される値は四捨五入した値です。PC ツールで保存した実績データは四捨五入される前の真の値で保存されます。
- USB ケーブルを接続したままの状態でも 1 か月以上放置しないでください。使用後は USB ケーブルを取り外してください。

USB 接続中には、カラー表示ユニットは計測ユニットからのデータ取得を行いません。

計測ユニット内で 1 か月以上経過したデータは消失するため、USB 接続状態のままでも 1 か月以上経過すると、計測ユニットからデータ取得できずにグラフなどが欠落します。

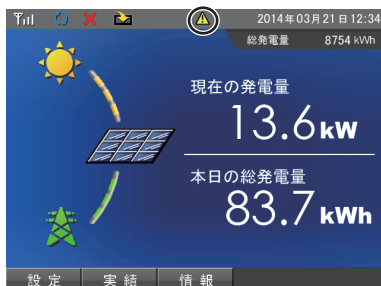
4.1 故障かな!?!と思ったら

4.1.1 異常が発生したら…

太陽光発電システムに異常が発生したときは、下記のようにエラーをお知らせします。

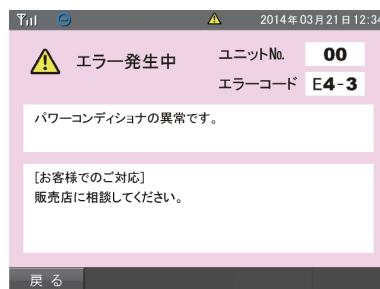
- 一部、異常履歴でしか確認できないエラーがあります。(⇒ 42) 定期的に異常履歴を確認してください。

■ エラーアイコン▲で表示



上記のようにエラーアイコンが表示された場合は、異常履歴を確認してください。(⇒ 下記)
自動復旧の可能性のある運転障害やシステム障害が発生しています。

■ エラーメッセージで表示



上記のようなエラーメッセージ画面が表示された場合は、自動復旧が困難または不可能な機器の故障やシステム障害が発生しています。
44 ページの「エラーメッセージが表示されたら」を読んで、確認してください。

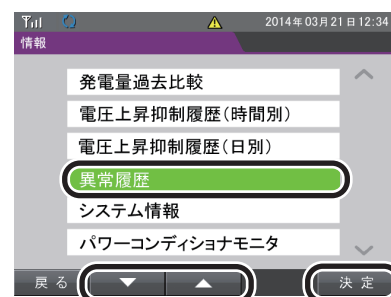
システム異常の履歴を確認する (異常履歴)

異常履歴は、計測ユニットが検出したシステム異常の履歴 (最大 100 件まで) を記録しています。

- パワーコンディショナ本体の異常履歴と一致しない場合があります。

1 情報メニュー画面 (⇒ 21) で「▼」/「▲」キーを押して「異常履歴」を選択し、「決定」キーを押す

- 異常履歴画面が表示されます。



2 異常履歴を確認する

- 発生日時、パワーコンディショナのユニット No. およびエラーコードを確認できます。現在発生中のエラーは赤色で表示されます。
- 「▼」/「▲」キーを押すと、次/前の異常履歴にカーソルが移動します。
- 「詳細」キーを押すと、カーソルが当たっている異常履歴のエラーメッセージを確認できます。
- エラーコードの示すエラー内容については「異常履歴で確認できるエラー一覧」(⇒ 42) もご確認ください。
- 最新表示を確認する際は、一旦「戻る」キーを押して、再度本画面を表示させてください。

重要

- 「クリア」キーを押すと、すべての異常履歴を消去します。消去された履歴は元に戻せません。十分確認のうえ、行ってください。エラーが発生中の場合は「クリア」キーを押しても消去できません。

4.1 故障かな!?! と思ったら (つづき)

■ 異常履歴で確認できるエラー一覧

エラーコード	エラーメッセージ*1	エラー内容	お客様でのご対応	処置
E1-1*2	電力会社からの電力供給状態に異常があります。	交流過電圧検出	1日に3回以上表示される場合は、販売店に相談してください。	商用系統の電圧が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。
E1-2*2		交流不足電圧検出		
E1-3*2		周波数上昇検出		商用系統の周波数が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。
E1-4*2		周波数低下検出		
E1-5*2		単独運転検出(受動的方式)		商用系統の周波数が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。 エラーが解消されない場合は、太陽光発電用ブレーカを「OFF」にして、お買い上げの販売店へ連絡してください。
E1-6*2		単独運転検出(能動的方式)		
E1-7*2		瞬時過電圧検出		商用系統の電圧が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。 エラーが解消されない場合は、太陽光発電用ブレーカを「OFF」にして、お買い上げの販売店へ連絡してください。
E1-8*2		瞬時電圧低下検出		
E2-1	太陽電池の出力電圧が高くなっています。	太陽電池過電圧検出	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。	パワーコンディショナ本体の運転スイッチを入れ直して「ON」にしてください。 エラーが解消されれば運転を再開します。 エラーが解消されない場合は、太陽光発電用ブレーカを「OFF」にして、お買い上げの販売店へ連絡してください。
E2-3	太陽電池の配線に異常が発生しています。	直流地絡検出	販売店に相談してください。	
E3-1	パワーコンディショナを再起動しています。	直流過電流検出	1日に3回以上表示される場合は、販売店に相談してください。	
E3-2		交流過電流検出		
E3-3		直流分検出		
E3-4	パワーコンディショナの内部温度が高くなっています。	装置温度異常	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか確認してください。 連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。	温度が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。 ● 通風口を確認し、塞いでいるものがあれば取り除いてください。 ● パワーコンディショナの上下、左右、前方に必要なスペースが確保されているか確認してください。 エラーが解消されない場合は、故障の可能性があります。お買い上げの販売店へ連絡してください。
E4-2	パワーコンディショナを再起動しています。	特性異常	1日に3回以上表示される場合は、販売店に相談してください。	パワーコンディショナ本体の運転スイッチを入れ直して「ON」にしてください。 エラーが解消されれば運転を再開します。 エラーが解消されない場合は、太陽光発電用ブレーカを「OFF」にして、お買い上げの販売店へ連絡してください。
E4-5		制御電源異常		
E5-3		DC/DC コン過電圧検出		
E5-4		DC/DC コン不足電圧検出		
E5-6		過電流検出		

*1. エラーメッセージは異常履歴画面で「詳細」キーを押すと、表示されます。

*2. 自動復旧が可能な一過性の異常です。異常履歴でしか確認できません。(エラーアイコンは表示されません) 定期的に異常履歴を確認してください。

4.1 故障かな!?! と思ったら (つづき)

エラーコード	エラーメッセージ ^{※1}	エラー内容	お客様でのご対応	処置
A1-5	自立コンセントの使用電力が、現在出力可能な量を超えています。	自立運転過負荷状態	停電用コンセントに接続している機器を減らすなど、電力の使用量を減らしてください。	パワーコンディショナ本体の運転スイッチを「OFF」にし、停電用コンセントに接続している電気製品を減らす、または故障した電気製品を停電用コンセントから外してください。その後、運転スイッチを再度「ON」にしてください。
A8-1 ^{※2}	計測ユニットと通信できません。	カラー表示ユニット通信不能	無線通信設定時： 無線受信レベルを確認し、カラー表示ユニットを電波状況の良い場所に移動してください。(⇒ 14) 有線通信設定時： カラー表示ユニットと計測ユニットを接続するケーブルが外れていないか確認してください。 上記を確認後、改善されない場合はお買い上げの販売店へ連絡してください。	
A9-1	電力会社からの電力供給状態に異常があります。	計測ユニット入力過電圧	1日に3回以上表示される場合は、販売店に相談してください。	

※ 1. エラーメッセージは異常履歴画面で「詳細」キーを押すと、表示されます。

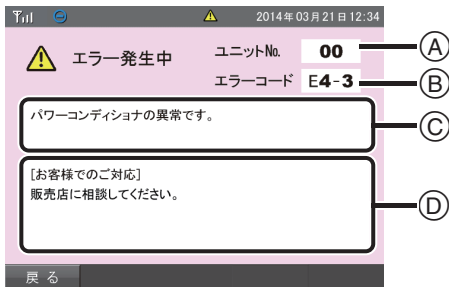
※ 2. 「A8-1」は発電ランプが「橙色点滅」します。その他のエラーコードは「橙色点滅」せず「発電状態」を表示します。

4.1 故障かな!?! と思ったら (つづき)

エラーメッセージが表示されたら

自動復旧が困難または不可能な機器の故障やシステム障害が発生した場合、下記のようなエラーメッセージが表示され、発電ランプが「橙色点滅」します。内容を確認して、処置を適切に行ってください。

- 販売店にご相談いただく際は、エラーコードとエラーメッセージを販売店にお伝えください。



- Ⓐ ユニット No. ※
- Ⓑ エラーコード
- Ⓒ エラーメッセージ
- Ⓓ お客様での対応

※ 異常が発生しているパワーコンディショナのユニットNo.が表示されます。カラー表示ユニット、計測ユニットのエラーのときは「ー」が表示されます。

エラーコード	エラーメッセージ	エラー内容	お客様での対応	処置
E4-3	パワーコンディショナの異常です。	出力制御異常	販売店に相談してください。	パワーコンディショナ本体の運転スイッチを入れ直して「ON」にしてください。エラーが解消されれば運転を再開します。エラーが解消されない場合は、太陽光発電用ブレーカを「OFF」にして、お買い上げの販売店へ連絡してください。
E4-4		ROMバージョン異常		
E4-6		EEPROM Sum 値異常		
E4-7		EEPROM 異常		
E4-8		装置未校正		
E5-1		連系リレー動作異常 / 端子台温度異常		
E5-2		表示ハード異常		
E5-5		地絡センサ断線		
A2-7		内部ファン異常		
E8-1	カラー表示ユニットもしくは計測ユニットの異常です。	EEPROM 異常 (カラー表示ユニット)	販売店に相談してください。	カラー表示ユニットの故障の可能性があります。お買い上げの販売店へ連絡してください。
E8-2		FLASH 異常		カラー表示ユニットの故障です。カラー表示ユニットを交換してください。
E8-3		無線モジュール異常		
E9-2		EEPROM 異常 (計測ユニット)		計測ユニットの故障の可能性があります。お買い上げの販売店へ連絡してください。
E9-3		EEPROMデータ破損		
E9-4		時計異常		時計異常が発生しています。計測ユニットの電源が7日以上「OFF」になった場合、時計がリセットされ、異常履歴に E9-4 が記録されます。日付 / 時刻を設定し直してください。(⇒ 34) それでも改善されない場合は販売店に相談してください。
E9-5	無線モジュール異常	販売店に相談してください。	計測ユニットの故障の可能性があります。お買い上げの販売店へ連絡してください。	

4.1 故障かな!?!と思ったら (つづき)

4.1.2 こんなときは…

こんなときは	確認内容	処置
表示画面に何も表示されない。	バックライトが消灯していませんか？	操作キーを押すと画面が表示されます。表示画面の点灯時間は、液晶画面設定で変更することができます。(⇒ 32)
操作キーを押しても何も表示しない。 発電ランプが点灯しない。	AC アダプタがコンセントやカラー表示ユニットから外れていませんか？	AC アダプタをコンセントおよびカラー表示ユニットに正しく接続してください。正しく接続しても、現象が解消されない場合は販売店に相談してください。
表示(時刻・発電量)が変わらない。	カラー表示ユニットの電波状態を確認してください。	圏外アイコンが表示されている場合、通信状態の良い場所にカラー表示ユニットを設置してください。(⇒ 14)
圏外アイコンが表示されている。 無線通信ができない。	周りに障害物があったり、設置場所が遠かったりしませんか？	設置場所を変更してください。(⇒ 14) 設置場所を変更したくない場合は、47 ページの「無線通信ができなくなった場合は(高機能設定)」を読んで、設定を変更してください。
有線で接続しているのに圏外アイコンが表示される。	通信が切断しています。	カラー表示ユニットと計測ユニットを接続するケーブルが正しく配線されていないか、ケーブルが破損している可能性があります。販売店に相談してください。
実績情報が途中から残っていない。 時刻情報が表示されず、発電電力量が 0.0kW のまま変化しない。	周りに障害物があったり、設置場所が遠かったりしませんか？	一旦、カラー表示ユニットの AC アダプタをコンセントから抜いてください。カラー表示ユニットを計測ユニットの出来るだけ近くに移動し、AC アダプタをコンセントに差し込んでください。
操作していないのに画面が点灯している。	画面点灯モードを「発電中」に設定していませんか？	画面点灯モードを「発電中」に設定している場合、太陽光発電中は常にバックライトが点灯します。(⇒ 32)
	エラーメッセージが表示されていませんか？	異常がある場合、自動的に画面を点灯しエラーメッセージを表示します。(⇒ 44)
	瞬時停電が発生していませんか？	瞬時停電があった場合、停電から復帰した際にメイン画面が表示され、設定された画面点灯時間の間は画面が点灯したままになります。
操作していないのに時計異常または日付 / 時刻設定画面が表示される。	計測ユニットの電源が 7 日以上「OFF」になっていませんか？	計測ユニットの電源が 7 日以上「OFF」になった場合、時計がリセットされ、異常履歴に E9-4 が記録されます。日付 / 時刻を設定し直してください。(⇒ 34)
カラー表示ユニットの発電ランプが橙色で点滅している。	エラーアイコン、またはエラーメッセージが表示されていませんか？	エラーが発生しています。カラー表示ユニットで、エラーを確認してください。(⇒ 41)
AC アダプタが熱い。	どのくらい発熱していますか？	通常使用状態でも発熱しますので異常ではありません。手で触れられないほどであれば AC アダプタをコンセントから抜いて販売店に相談してください。
電圧上昇抑制履歴(日別)が毎日残っている。	抑制履歴の抑制時間が「0分」と表示されていませんか？	「0分」と表示されている場合は、正常です。電圧上昇抑制履歴(日別)は、1日ごとに保存されています。電圧上昇抑制機能が働いていなくても履歴は残ります。(⇒ 28)

4.1 故障かな!?! と思ったら (つづき)

こんなときは	確認内容	処置
パワーコンディショナの総積算電力量とカラー表示ユニットの総積算電力量の値が異なる。	パワーコンディショナの交換等を行っていませんか？	パワーコンディショナとカラー表示ユニットに表示される積算電力量の値が異なる場合がありますが、正常です。積算電力量は、パワーコンディショナとカラー表示ユニットそれぞれで積算しています。
16時00分～翌7時59分の時間帯にパワーコンディショナ間通信異常  が表示される。	パワーコンディショナの運転開始時(朝)や運転停止時(夕方)ではないですか？	16時00分～翌7時59分でも運転開始時や運転停止時の動作が影響して一時的に  が表示される場合があります。発電が行われている日中でも  が表示され続けている場合は、販売店に相談してください。
電圧上昇抑制  、 温度上昇抑制  が表示される。	発生頻度や発生時間を確認してください。	発生頻度が低い場合や短時間の場合は、システムの異常ではありません。発生頻度が高い場合や長期間復帰しない場合は、販売店に相談してください。 ●電圧上昇抑制機能、温度上昇抑制機能は、システムを安全に運用するために発生する機能です。
実績データが消えた。 または、実績データ、電圧上昇抑制履歴の内容が変わった。	1時間以上時間を進めたり、戻したりしていませんか？または停電していませんか？	日付/時刻設定や停電によって内部の過去実績データや電圧上昇抑制履歴に影響する場合があります。(⇒ 27, 36)
カラー表示ユニットの電力表示値がおかしい。	過去のデータと比較してください。	過去のデータと比較して、明らかに電力表示値がおかしい場合は、システム異常の可能性がります。販売店に相談してください。
計測ユニットの無線設定ランプが点滅したり消灯したりする。	パワーコンディショナの発電状況を確認してください。	正常です。 計測ユニットの無線設定ランプは、下記のように動作します。発電している時やパワーコンディショナが動作しているなどパワーコンディショナと通信中は点滅します。夜間や日射量がないなどパワーコンディショナが運転停止状態になったときは、消灯します。(⇒ 13)
無線グループ変更を行うと、画面が勝手に変わった。	複数台の無線グループ変更を行っていませんか？	正常です。複数台の無線グループ変更を行うと、他のカラー表示ユニットの画面が自動で切り替わる場合があります。無線グループ変更後は、すべてのカラー表示ユニットで無線グループが一致していることを確認してください。(⇒ 49)
実績画面で現在のグラフや数値が表示されない。	データ取得状況アイコン  が表示されていませんか？	日付/時刻を大きく変更した場合、データの更新に時間がかかります。(最大2時間程度) その際、データ更新が終了するまで現在の実績グラフや実績一覧の数値は表示されません。
メイン画面や実績画面などに表示される発電電力量が、電力会社の明細書に記載されている電力量と異なる。	表示される電力量を確認してください。	以下の誤差により、電力会社の明細書に記載されている電力量と異なる場合があります。大幅に違う場合は販売店に相談してください。 (1) 計測上の誤差：計量法上の特定計量器ではなく、電力会社の売電電力量算定には別の機器にて計測していることから生じる誤差。 (2) 計算上の誤差：カラー表示ユニット内での計算・表示プロセスにおいて四捨五入することから生じる誤差。

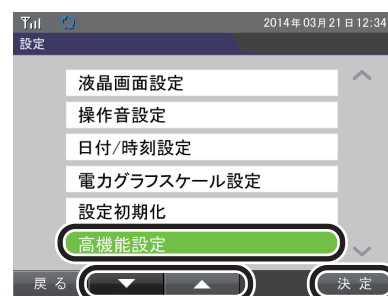
4.1 故障かな!?!?と思ったら(つづき)

4.1.3 無線通信ができなくなった場合は(高機能設定)

無線通信ができなくなった場合や通信状態アイコン(⇒18)のアンテナ本数が1本も立っていない場合、高機能設定を設定することによりトラブルを回避できます。

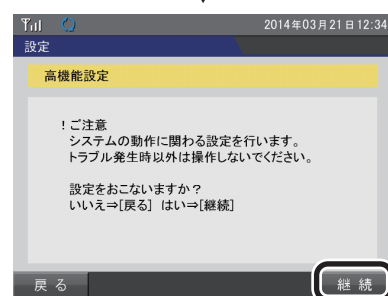
無線受信レベルを確認する(無線受信レベル確認)

1 設定メニュー画面(⇒21)で「▼」/「▲」キーを押して「高機能設定」を選択し、「決定」キーを押す

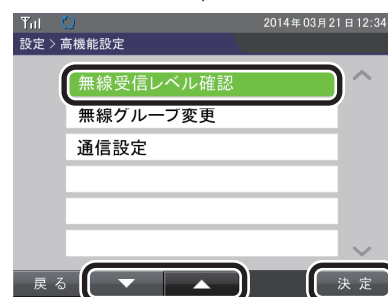


2 「継続」キーを押す

- 高機能設定画面が表示されます。



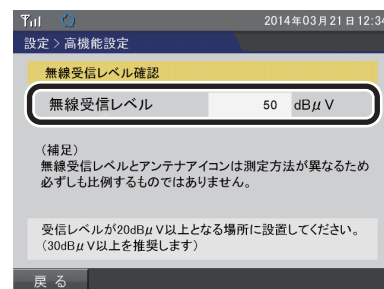
3 「▼」/「▲」キーを押して「無線受信レベル確認」を選択し、「決定」キーを押す



4.1 故障かな!?! と思ったら (つづき)

4 カラー表示ユニットの無線受信レベルを確認する

- 無線の受信レベルの値が表示されます。受信できない場合は -- [dB μ V] と表示されます。無線受信レベルは受信レベルの実測値を目安にした表示であり、通信状態アイコン (⇒ 18) と異なる指標のため必ずしも比例するものではありません。
- 通信状態によっては、無線受信レベルが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 受信レベルが30dB μ V以下の場合、無線通信の受信状況が悪くなっています。カラー表示ユニットを計測ユニットへ近付けてください。それでも改善されない場合は、システムの故障か、電波の条件が悪くなっている可能性があります。販売店に相談してください。
- 受信レベルが -- [dB μ V] と表示される、もしくは -- [dB μ V] の値と30 [dB μ V] 以上の値が定期的に表示される場合、無線が混信している可能性があります。「無線グループ変更」を行ってください。(⇒ 49)
無線グループ変更後に他のカラー表示ユニットが通信できなくなった場合、無線グループ変更の途中で無線通信が遮断されたり、電源が入っていないカラー表示ユニットがあると正しく無線グループ変更が実施されないことがあります。その場合は、カラー表示ユニットが通信できなくなるため通信設定の変更 (⇒ 51) を行ってください。



4.1 故障かな!?!?と思ったら (つづき)

無線グループを変更する (無線グループ変更)

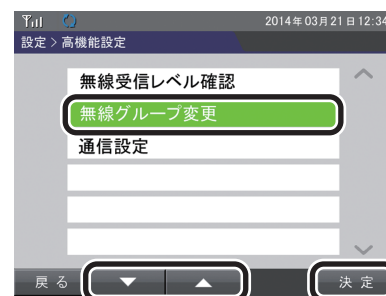
無線の混信などのトラブル時に、無線の周波数帯を変更できます。

重要

- システム動作に関わる設定を行うため、トラブル発生時以外は使用しないでください。

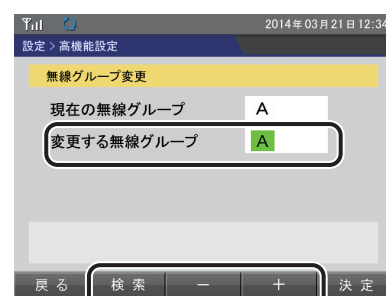
1 高機能設定画面 (⇒ 47) で「▼」 / 「▲」キーを押して「無線グループ変更」を選択し、「決定」キーを押す

- 無線グループ変更画面が表示されます。



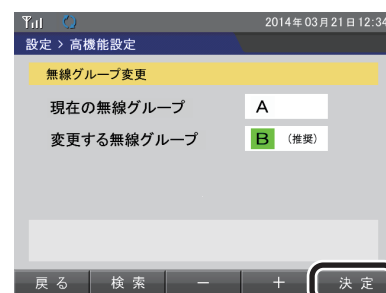
2 「検索」キーまたは「-」 / 「+」キーを押して無線グループを変更する

- 「検索」キーを押すと、検索中のメッセージが表示され、推奨の無線グループを検索します。
検索後、「変更する無線グループ」のアルファベットの後ろに「(推奨)」が表示されます。
- 「-」 / 「+」キーを押すと、手動で無線グループを変更できます。
- 無線グループは「A」～「S」の範囲で変更できます。
- 通常は推奨の無線グループをお使いください。



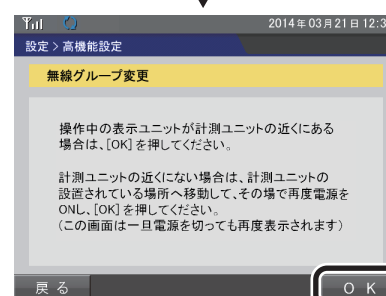
3 「決定」キーを押す

- カラー表示ユニットの設置場所の確認画面が表示されます。



4 操作しているカラー表示ユニットが計測ユニットの近くにあることを確認し、「OK」キーを押す

- 計測ユニットの近くにない場合は、ACアダプタをコンセントから取り外してカラー表示ユニットを移動させてください。移動後にACアダプタをコンセントに差し込むと同一画面が表示されますので、「OK」キーを押してください。
- 無線通信設定中のメッセージが表示されたあと、カラー表示ユニットの複数台設置の確認画面が表示されます。



4.1 故障かな!?!?と思ったら (つづき)

5 (カラー表示ユニットが1台の場合) 「OK」キーを押す


(カラー表示ユニットを複数台設置している場合)
すべてのカラー表示ユニットを計測ユニットの
近くに移動し「OK」キーを押す

- すべてのカラー表示ユニットの無線グループの設定を開始します。設定完了の画面が表示されるまでお待ちください。

重要

■ 無線グループ変更の失敗の画面が表示された場合

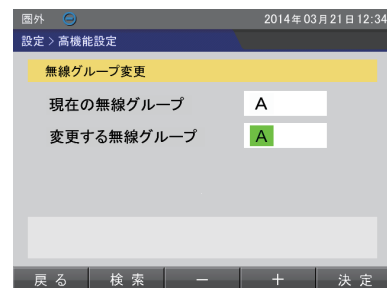
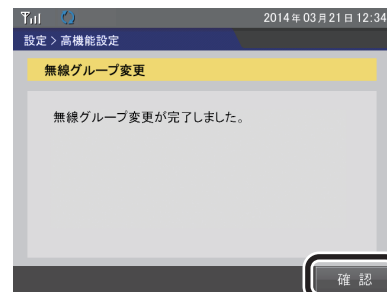
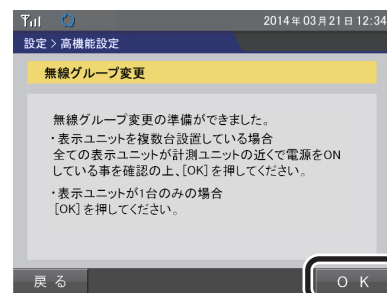
1 通信状態を確認する

- 画面左上の通信状態アイコン (⇒ 18) が  と表示されているか確認してください。 **圏外** が表示されている場合は、カラー表示ユニットを計測ユニットの近くに移動させてください。

2 「確認」キーを押す

3 もう一度無線グループの変更を行う

6 「確認」キーを押して設定を終了する



■ カラー表示ユニットを複数台設置している場合

設定の変更後、登録しているすべてのカラー表示ユニットを操作して「無線グループ変更」画面を表示し、無線グループが一致しているか確認してください。

- **圏外** が表示される、または無線グループが一致しない場合は、無線グループ変更ができていません。「通信設定の変更 (通信設定)」 (⇒ 51) を再度行ってください。

4.1 故障かな!?!?と思ったら (つづき)

通信設定の変更 (通信設定)

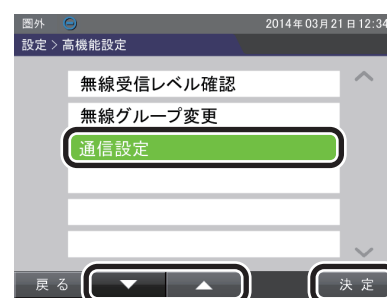
「無線通信ができなくなった場合は (高機能設定)」(⇒ 47) で無線グループを変更後、他のカラー表示ユニットが通信できなくなった場合のみ下記の操作をしてください。変更を間違えるとシステムが使用できなくなるおそれがあるため変更内容をしっかり確認してください。

重要

- システム動作に関わる設定を行うため、トラブル発生時以外は使用しないでください。

1 高機能設定画面 (⇒ 47) で「▼」 / 「▲」 キーを押して「通信設定」を選択し、「決定」キーを押す

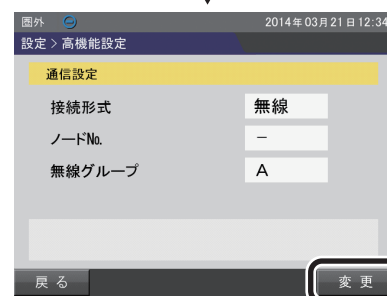
- 通信設定画面が表示されます。



2 現在の通信設定を確認して、「変更」キーを押す

- 現在の通信設定を確認できます。

接続形式	現在の接続形式 (無線 / 有線) を表示します。
ノード No.	有線接続時にカラー表示ユニットの個体識別番号 (1 ~ 98) を表示します。(無線接続時は「-」と表示されます。)
無線グループ	無線接続時に計測ユニットとカラー表示ユニットの無線グループ (A ~ S) を表示します。(有線接続時は「-」と表示されます。)

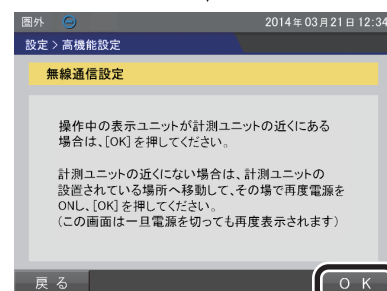


3 「接続形式」が「無線」になっていることを確認し、「決定」キーを押す



4 カラー表示ユニットが計測ユニットの近くにあることを確認し、「OK」キーを押す

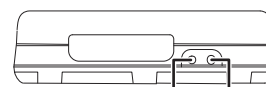
- 計測ユニットの近くにない場合は、AC アダプタをコンセントから取り外してカラー表示ユニットを移動させてください。移動後に AC アダプタをコンセントに差し込むと同一画面が表示されますので、「OK」キーを押してください。



4.1 故障かな!?! と思ったら (つづき)

- 5** 計測ユニットの無線設定スイッチを 3 秒以上押し続けて、無線設定ランプを緑色点灯させる

(底面)



無線設定ランプ 無線設定スイッチ

- 6** 緑色点灯後 10 秒以内に、カラー表示ユニットの「OK」キーを押す

- 「OK」キーは、無線設定ランプが緑色点灯中に押してください。「OK」キーを押す前に無線設定ランプが緑色点滅または消灯に変わった場合は、もう一度手順 5 を行ってください。
- 無線通信設定中のメッセージが表示されます。無線通信設定が完了すると、カラー表示ユニット登録中のメッセージが表示されます。

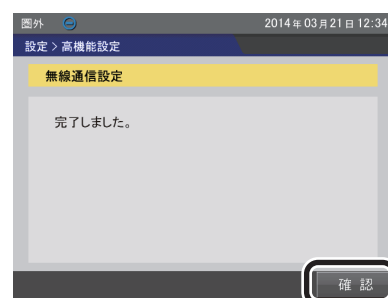
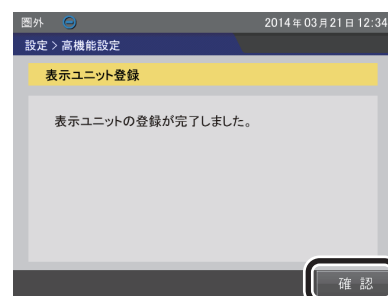
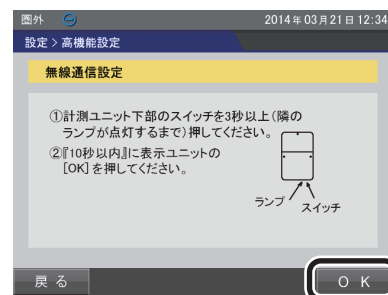
重要

- 無線通信設定やカラー表示ユニット登録の失敗のメッセージが表示された場合は、53 ページをお読みください。

- 7** カラー表示ユニット登録の完了画面で「確認」キーを押す

- 8** 無線通信設定の完了画面で「確認」キーを押す

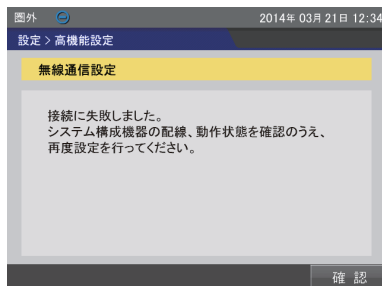
- 高機能設定画面 (⇒ 47) が表示されます。
- 画面左上の通信状態アイコン (⇒ 18) が「圏外」からアンテナの表示に切り換ります。



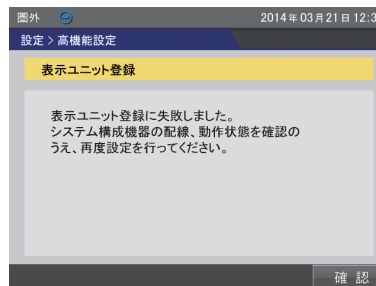
4.1 故障かな!?! と思ったら (つづき)

■ 無線通信設定やカラー表示ユニット登録の失敗のメッセージが表示された場合

無線通信設定の失敗



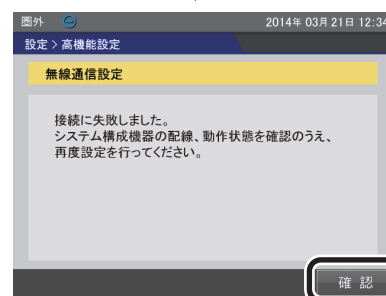
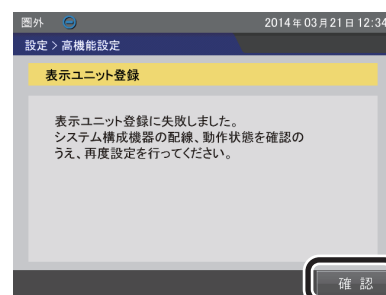
カラー表示ユニット登録の失敗



1 カラー表示ユニットが計測ユニットの近くにあり、無線通信を遮るものがないか確認する

2 (カラー表示ユニット登録の失敗の場合のみ)
カラー表示ユニット登録失敗の画面で「確認」キーを押す

- 「確認」キーを押した後に、無線通信設定の失敗のメッセージが表示されます。手順3に進んでください。



3 無線通信失敗の画面で「確認」キーを押す

- 高機能設定画面が表示されますので、もう一度「通信設定」を行ってください。(⇒ 51)

- 無線通信設定が失敗を繰り返す場合は、無線通信が混信状態の可能性がります。お買い上げの販売店にご相談ください。

4.2 お手入れ

カラー表示ユニットを常に最良の状態を使用するために、清掃を定期的に行ってください。

■ 清掃のしかた

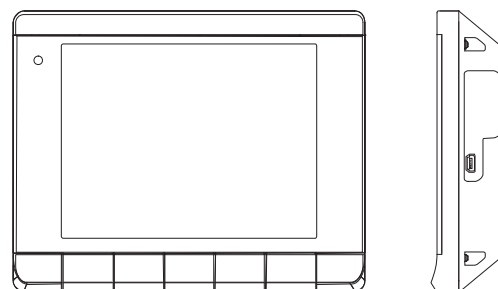
液晶画面が汚れて見えにくい場合は、次の要領で定期的に清掃してください。

- 清掃時は、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。乾拭きする際は、無理な力で汚れを落とさないでください。液晶画面に傷が付く恐れがあります。
- 本体にゴム、ビニール製品、テープなどを長時間密着させておくと、汚れが付く恐れがあります。汚れが付着している場合は、清掃時に取り除いてください。

4.3 仕様

カラー表示ユニット

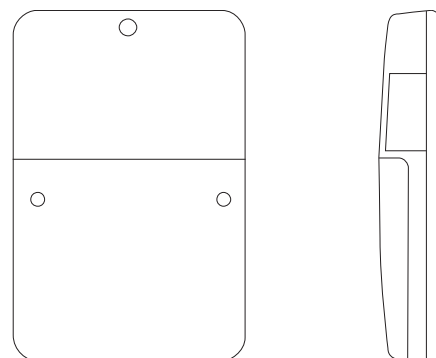
品名	カラー表示ユニット
型式	TPV-CM003A-CM
画面	5.7 インチ液晶ディスプレイ (115mm × 86mm)
表示色	65536 色
通信方式	無線通信：特定小電力無線通信 有線通信：RS-485 準拠
設置方法	卓上設置 / 壁面設置
保存可能データ	日間データ：24 時間 × 94 日 (当日含) (表示可能データは 32 日)
	月間データ：31 日 × 13 か月 (当月含)
	年間データ：12 か月 × 30 年間 (当年含) (表示可能データは 21 年間)
定格入力電圧	DC6V (専用 AC アダプタを使用)
最大消費電力	6W 以下
使用温度範囲	- 10 ~ + 40 °C (ただし氷結なきこと)
使用湿度範囲	25 ~ 85%RH (ただし結露なきこと)
質量	約 320g



- 発電量の表示精度につきましてはパワーコンディショナの性能に依存します。

計測ユニット

品名	計測ユニット
型式	TPV-CM003A-SU
パワーコンディショナ 最大接続台数	12 台
データ通信方式	無線 / 有線 (切替え式)
設置方法	壁面設置
定格入力電圧	単相 3 線 100V/200V または 単相 2 線 100V
最大消費電力	3W 以下
使用温度範囲	- 10 ~ + 40 °C (ただし氷結なきこと)
使用湿度範囲	25 ~ 85%RH (ただし結露なきこと)
質量	約 410g



商品のお問い合わせは

商品・修理・トラブル・メンテナンス・別売品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店に相談してください。販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口にご相談してください。

TOSHIBA

株式会社 **東芝** 社会インフラシステム社

太陽光発電システム推進部

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

東芝住宅用太陽光発電システム ご相談センター <受付時間> 9:00~17:00 (祝日、年末年始を除く)

個人・法人の
お客様窓口

[固定電話の場合]



0120-402743

CO₂ なし さ

[携帯電話・PHS・IP電話の場合]

03-5352-7657

(通話料:有料)

販売店様・
施工店様他の窓口

03-5352-7623

(通話料:有料)

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

2014年7月 初版